

学校評価支援システム S Q S

Shared Questionnaire System

©KUBO Hiroya/Shared Questionnaire System Development Project

基本操作テキスト 2018

SQS SourceEditor Ver2.1
SQS MarkReader Ver2.1

岩手県立総合教育センター

< 目 次 >

- ★ SQSとは 1
- ★ SQSを活用したアンケート調査の流れ 2

O SQS 環境設定・インストール作業【Java】

- 1 J a v a 実行環境の設定) 3

I SQS SourceEditor によるアンケート用紙の作成

- 1 SQS SourceEditorVer2.1について 6
- 2 アンケート用紙の構成 8
- 3 SQS SourceEditor を使ったアンケートの作成 9
- 4 SQS SourceEditor の操作 11
- 5 アンケート用紙の作成 13
- 6 調査票の属性項目の入力 15
- 7 アンケート項目、回答欄の作成 17
- 8 アンケート項目データの保存 33
- 9 アンケート用紙の印刷 35

II PDFからTIFFへ変換

- 1 アンケート用紙のスキャニング（PDFファイルとして保存） 37
- 2 PDFからTIFFへ変換 40

III SQS MarkReaderでのマークシート読み取り

- 1 SQS MarkReaderVer2.1について 45
- 2 データの読み取り処理 47
- 3 データの読み取りエラーの処理 49

IV 読み取り処理結果の分析

- 1 読み取り結果の内容 54
- 2 読み取りできなかったデータの確認と入力訂正 55
- 3 集計しやすいように表の体裁を整える 55
- 4 集計欄を作成して計算式を設定する 56
- 5 集計結果を使ってグラフ化 57
- 6 課題発見型アンケート形式の集計とグラフ化 58

<SQSアンケート用紙の例>

- ・インターネット利用に関するアンケート
- ・第60回岩手県教育研修発表会参加者アンケート

SQS (Shared Questionnaire System) とは

SQS とは

～共有された調査支援システム・調査票の共有システム

- 1 「アンケートシステム」の共有化
- 2 「調査票の共有システム」

- ◆SQS(Shared Questionnaire System)は、「普通紙マークシート方式」による調査票作成・読み取り集計ソフトウェア」です。
- ◆SQSを利用するためには、特別な機材は必要ありません。PC、白黒プリンタ、ドキュメントスキャナがあればOKです。
- ◆SQSは、無償・自由な利用が可能です。



2種類の「共有」の導入

Shared Questionnaire System

1. 「アンケートシステム」の共有化
オープンソース・ソフトウェアとしてのSQS

×

2. 「調査票の共有」のシステム
オープンな調査コンテンツの処理系としてのSQS

開発者：久保裕也 氏

SQSを活用したアンケート調査の流れ

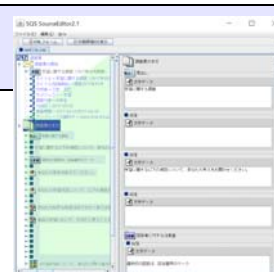
従来の方法

SQSを用いた方法

★アンケート用紙の作成

※ ワードプロで作成

- ※ SQS Source Editorで作成【Ⅱ】
- ※ PDFファイルとして出力



★アンケート実施

※ 人数分印刷

- ※ 該当人数分印刷して実施



★処理

※人の手で、1枚ずつ
読み取り・記録

- ※ 用紙をスキャナーでデジタル化【Ⅲ】
- ※ TIFF形式へ変換
- ※ SQS MarkReaderで自動処理【Ⅳ】



★出力

※ 人の手で打ち込み・集計

- ※ Excel、csvファイルとして出力

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	
1										
2					1/2/1	1/2/1	1/2/1	1/2/1	1/2/1	
3					あなた1	あなた1	あなた1	あなた1	あなた1	
4					あなたは、あなたは、あなたは、あなたは、あなたは、					
5					あなたは、あなたは、あなたは、あなたは、あなたは、					
6					1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	1.2.3.4	
7	1				img-412105225-000	2	2	2	1	3
8	1				img-412105225-000	4	3	2	2	1
9										
10										
11										
12										

★分析

- ※ 必要な情報に加工【Ⅴ】

0 SQS 環境設定・インストール作業 (Java)

1 Java実行環境の設定

※インターネットに接続してある必要があります。

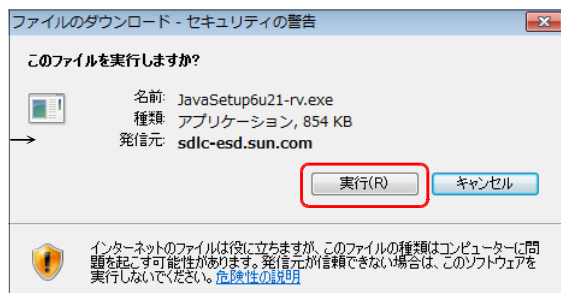
SQSシステムは、Java言語で書かれた2つのアプリケーションを利用します。

Java プログラミング言語で書かれたアプリケーションの実行には、Java 仮想マシン、実行時クラスライブラリ、Java アプリケーション起動プログラムが含まれている「Java」がコンピュータにインストールされている必要があります。

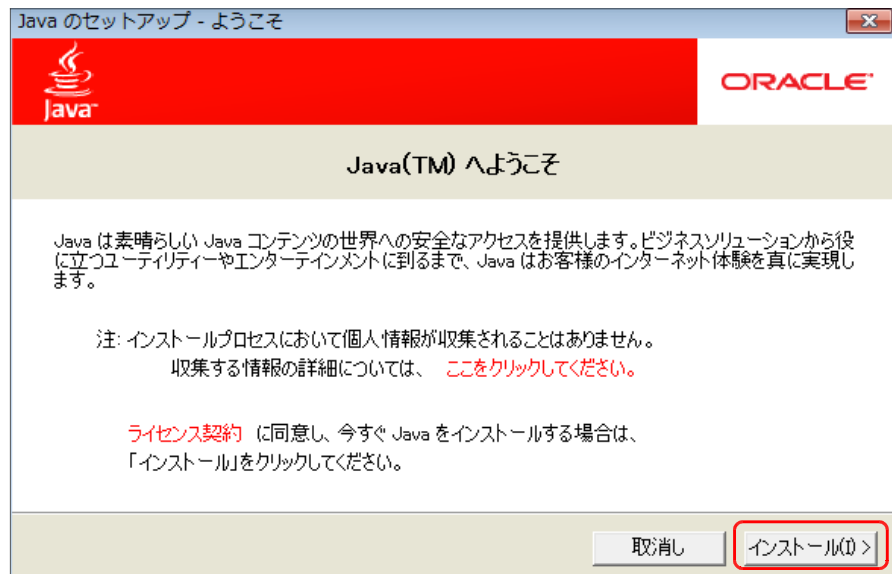
- (1) 管理者権限を持つユーザでコンピュータにログオンします。
- (2) Webブラウザを起動し、「あなたとJAVA今すぐダウンロード」のページ（<http://java.com/ja/>）を開きます。



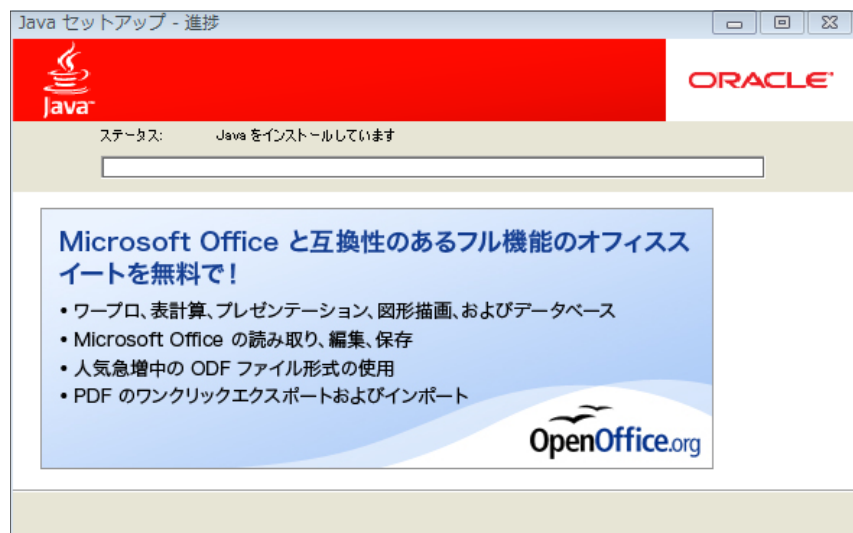
- (3) JAVAのページが表示されますので、「**無料Javaダウンロード**」のボタンをクリックします。
- (4) ファイルのダウンロード-セキュリティの警告のウィンドウが表示された場合は、そのまま**[実行]** ボタンをクリックします。



- (5) 「Javaのセットアップ-ようこそ」ウィンドウが表示されます。そのまま [インストール] ボタンをクリックします。



- (6) 「Javaセットアップ-進捗」ウィンドウが表示されます。



- (7) 「Javaセットアップ-完了」ウィンドウが表示されます。[閉じる] ボタンをクリックして、ウィンドウを閉じます。



- (8) 「プログラム互換性アシスタント」ウィンドウが表示されることがあります。「キャンセル」ボタンをクリックして、ウィンドウを閉じます。

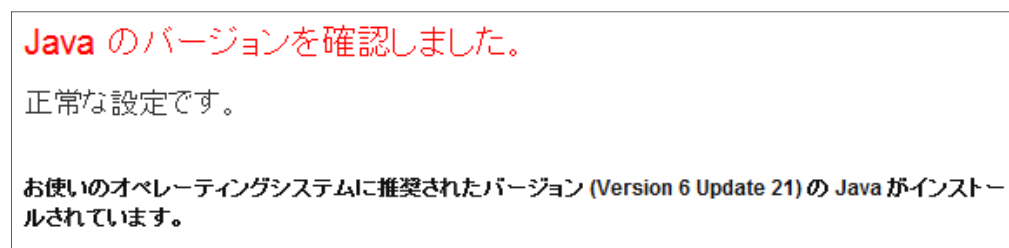


- (9) 「インストールの確認」の画面が表示されます。「Javaのバージョンの確認」ボタンをクリックしてください。

<http://www.java.com/ja/download/installed.jsp>



※正常なインストールであれば次のように表示されます。



※インストールに不具合があったときは再度インストールしてください。

I SQS SourceEditor によるアンケート用紙の作成

1 SQS SourceEditor ver2.1について

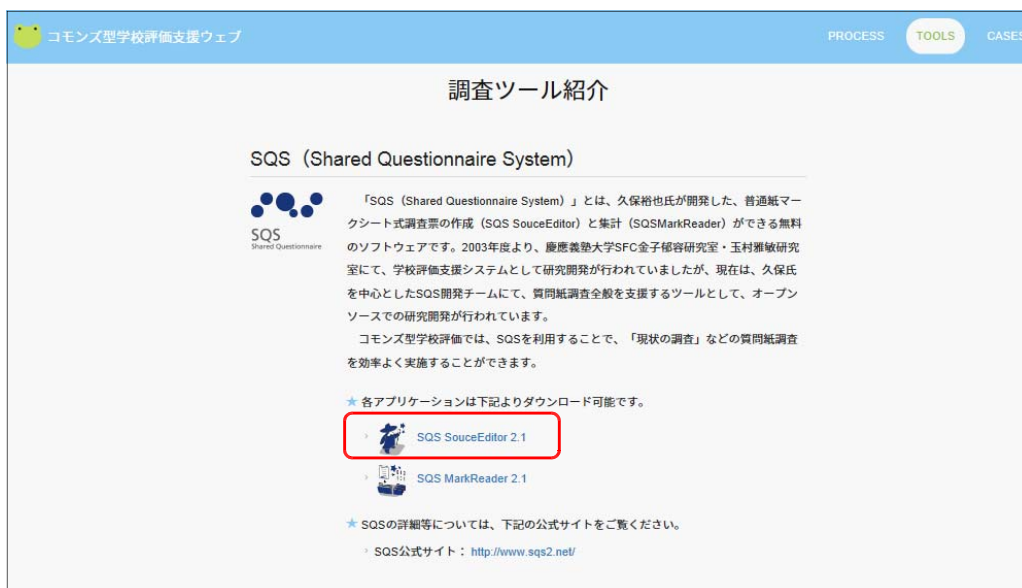
(1) 次のサイトから、「SQS SourceEditor ver2.1」をダウンロードします。

コモンズ型学校評価支援ツール

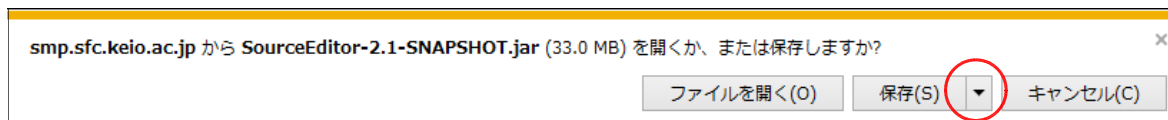
<http://smp.sfc.keio.ac.jp/commons/tools/>



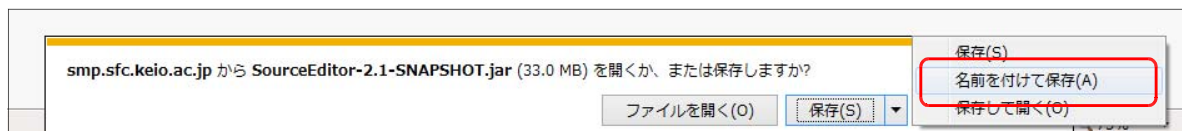
(2) ページ下部の「SQS SourceEditor 2.1」をクリックします。



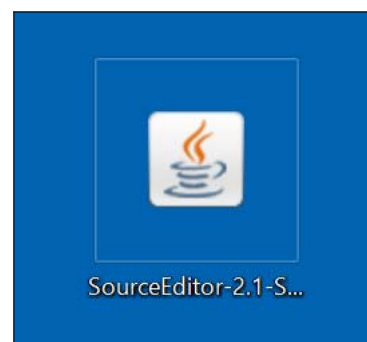
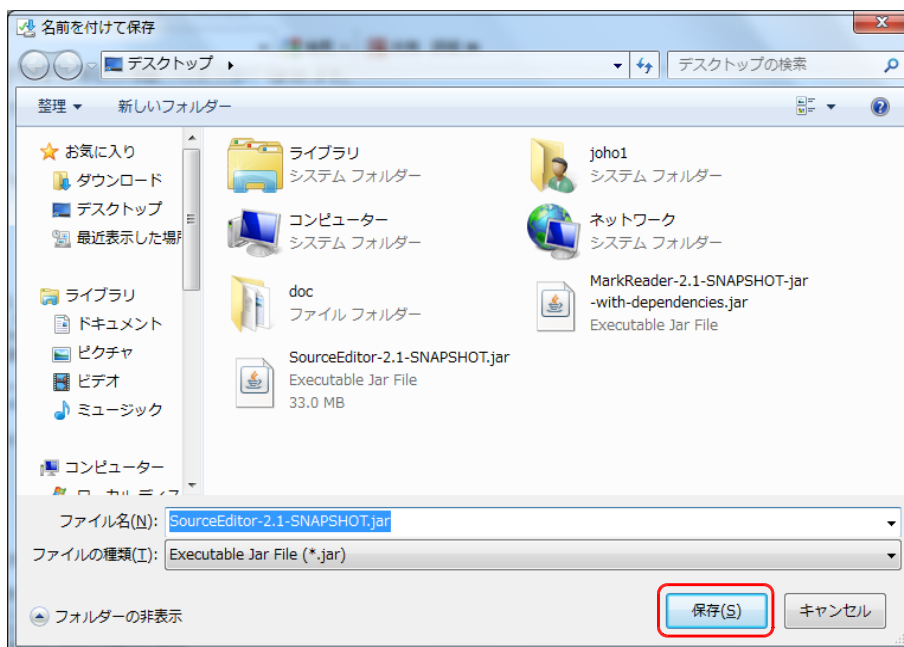
(3) ページ下に、以下の表示がされるので、「▼」ボタンをクリックします。



(4) 「名前を付けて保存(A)」をクリックします。



(6) 「名前を付けて保存」画面で、デスクトップなど保存する場所を適宜選択し、「保存(S)」ボタンをクリックします。



2 アンケート用紙の構成

SQS Source Editor で作成されるアンケート用紙の形式は次のような形式になります。

↙ ホチキス止め位置

学習に関する調査

学習に関する以下の項目について、あなたの考えをお聞かせください。

選択式の回答は、該当箇所のマーク○を塗り潰してご回答ください。
○：空白マーク ●：正しい塗りつぶし ◐：不十分な塗りつぶし

記述式の回答は、回答欄からはみ出さないように入力してください。
この用紙は複製で配布します。回答欄以外に書き込みをしたり、用紙を汚したり、折り目を付けたりしないように注意してください。

(1) あなたの学年を教えてください。
 1学年 2学年 3学年

(2) あなたの学習状況について、以下の項目からあてはまるものを1つ選んでください。(1つマーク)
 学校での学習はとて良く理解できるほうだ。
 学校での学習はまあまあ理解できるほうだ。
 学校での学習は教科によって理解できるものとできないものがある。
 学校での学習はあまりよくわからない。
 学校での学習はほとんど理解できない。

(3) あなたの好きな科目は何ですか。あてはまるものをすべてマークしてください。(複数回答可)
 国語 社会 数学
 理科 音楽 美術
 保健体育 技術・家庭 外国語

(4) 普段の学習において、大切に思うことをすべて選んでください。(該当する項目にすべてマーク)

	マーク
1 授業中先生の説明や友だちの発言をまじめにしっかりと聞くこと。	<input type="checkbox"/>
2 授業中しっかりとノートを取ること。	<input type="checkbox"/>
3 宿題を期限までにしっかりとやること。	<input type="checkbox"/>
4 宿題以外でも予習や復習をやること。	<input type="checkbox"/>
5 授業に必要な教科書やノートなどの忘れ物をしないこと。	<input type="checkbox"/>

裏面へ続く →

(5) 次の各内容について、あなたの取り組み状況はどうか。選択欄から1つ選んでください。(各項目から1つ選んでマーク)

1/2

← 読み取り基準位置マーク(上)

← アンケートタイトル
← 依頼文

← マークのしかた

質問文、回答欄

← 読み取り基準位置マーク(下)

※ 左上の斜めの点線は、2枚以上のアンケート用紙をホチキス止めする位置と回収後に切り取るためのガイドラインです。

※ 読み取り基準位置マークは、2ページ目以降にも同様に印字されます。

※ アンケートタイトル、依頼文は1枚目のみに印字されます。

<SQSでのアンケート作成の特性・注意点>

1ページに印字される行数は約**35行**ですが、質問文と回答欄を1つの部品として扱いますので、ページ内に収まらない場合は次ページに印字されます。

3 SQS Source Editor を使ったアンケートの作成

SQSシステムでは、次の5つの形式のアンケート項目を作成することができます。

パターンA【単一選択式】

質問文に対して、複数の選択肢から1つ選んでマークする形式です。a・bの2つのタイプがありますが、項目の並べ方を変更しているだけで同じものです。

a. 選択肢を項目で表現する形式（一行に最大6項目を表示）

- (1) 【例：単一選択】 あなたの年齢は？
]1: 20～29歳]2: 30～39歳]3: 40～49歳]4: 50～59歳]5: 60～69歳]6: 70歳以上

b. 選択肢を文章で表現する形式（一行に1項目を表示）

- (2) 【例：単一選択（文章タイプ）】 □□□□□についてお伺いします。以下の項目から、あなたの考えに合うものを1つ選んでください。（1つにマーク）
]1: □□が、△△△△△△△△をすること1
]2: □□が、△△△△△△△△をすること2
]3: □□が、△△△△△△△△をすること3
]4: □□が、△△△△△△△△をすること4
]5: □□が、△△△△△△△△をすること5
]6: □□が、△△△△△△△△をすること6

パターンB【複数選択式】

質問文に対して、選択肢から複数の回答をマークできる形式です。

- (3) 【例：複数選択】 お子さんが通う学校は？（複数回答可）
]1: 小学校]2: 中学校]3: 高校
]4: 専門学校・予備校]5: 大学

パターンC【複数選択式（文章タイプ）】

文章形式の選択肢から、複数の回答をマークできる形式です。
表形式で選択肢の文章が縦に並べられます。

- (4) 【例：複数選択（文章タイプ）】 □□□□□についてお伺いします。以下の項目から、あなたの考えに合うものをすべて選んでください。（該当する項目すべてにマーク）

		マーク
1	□□が、△△△△△△△△をすること1	<input type="checkbox"/>
2	□□が、△△△△△△△△をすること2	<input type="checkbox"/>
3	□□が、△△△△△△△△をすること3	<input type="checkbox"/>
4	□□が、△△△△△△△△をすること4	<input type="checkbox"/>
5	□□が、△△△△△△△△をすること5	<input type="checkbox"/>
6	□□が、△△△△△△△△をすること6	<input type="checkbox"/>

パターンD【設問グループ（尺度型設問タイプ）】

各質問文に対して、あてはまる尺度を選んでマークする方式です。下の例のように回答の視点を複数（重要度と満足度のように）指定することもできます。

(1) 【例：重要度－満足度】 □□□□□についてお伺いします。以下の各項目について、あなたは「(A)どのくらい重要だと思うか【重要度】」と「(B)どれくらい満足しているか【満足度】」をお答えください。
 ((A)と(B)の両方の該当する箇所（各項目1カ所づつ）を塗りつぶしてください)

		(A)重要度				(B)満足度				
		大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない
1	□□が、△△△△△△△△をすること1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	□□が、△△△△△△△△をすること2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	□□が、△△△△△△△△をすること3	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	□□が、△△△△△△△△をすること4	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

パターンE【自由記述方式】

決められた枠の中に意見等を手書きできる形式です。

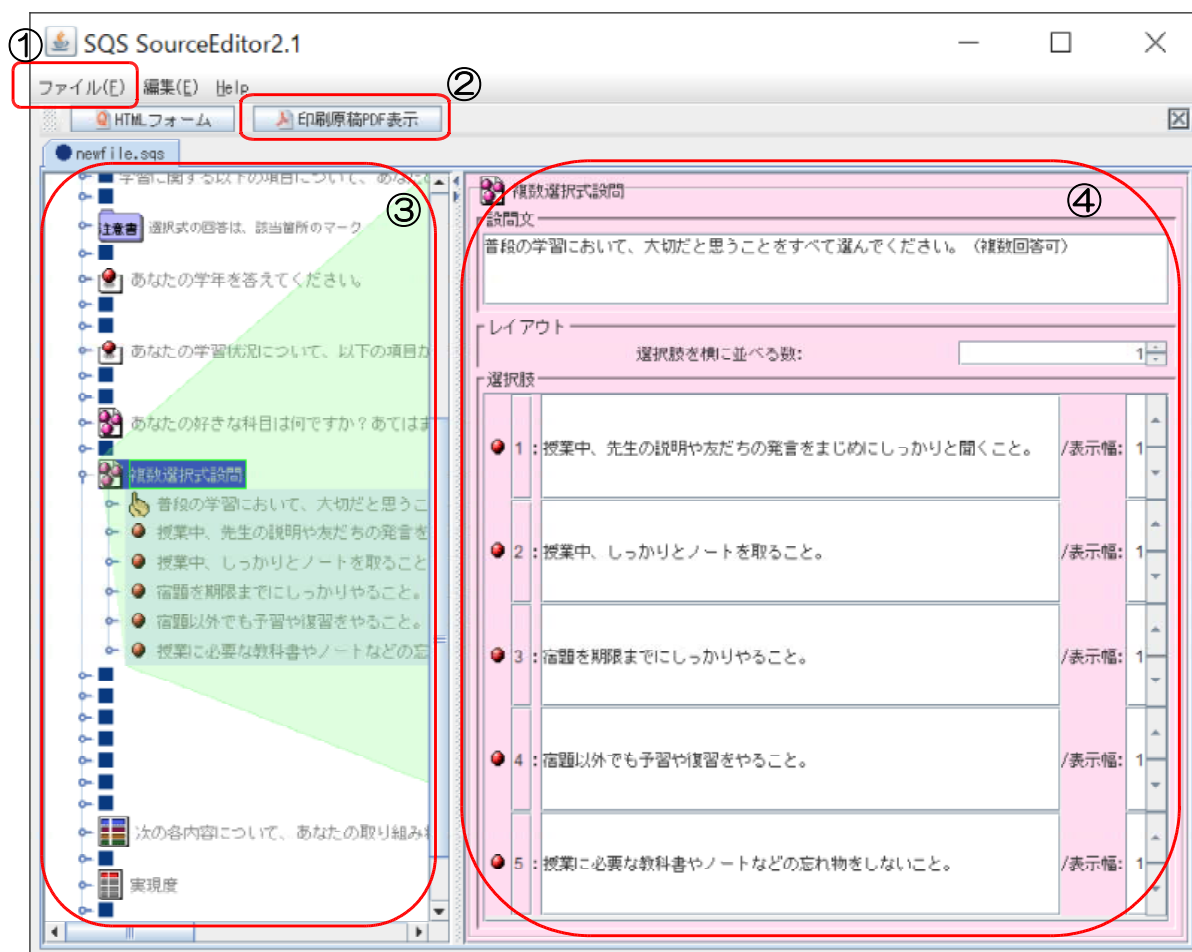
記述欄の大きさは自由に設定することができます。また、記述された内容を画面上で確認しながらテキスト入力をし、データとして保存することができます。

(5) 【例：自由記述欄】 □□□に関してご意見・ご感想がございましたら、ご記入ください

※ フォントや装飾、改行幅や1行文字数などのページレイアウトなどの変更はできませんので、質問文の長さや項目数を精査することが必要です。

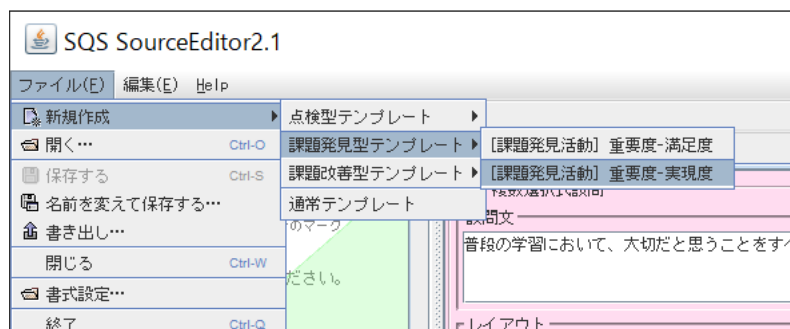
4 SQS Source Editor の操作

SQS Source Editor の画面構成は次のようになっています。



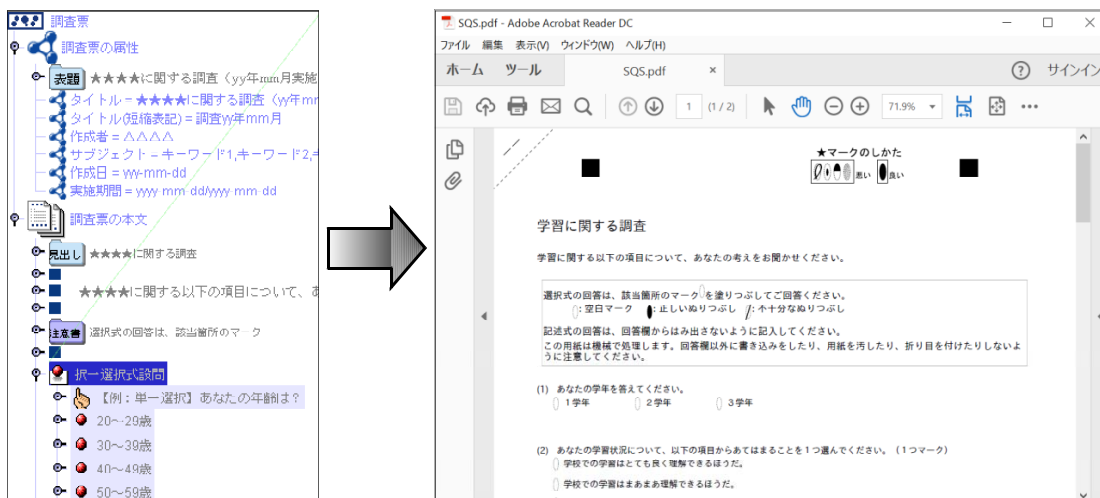
① メニューバー

SQSでアンケート用紙の新規作成や保存などのファイル操作を行います。
新規に作成する場合は、あらかじめ準備されているテンプレートを選択して編集していきます。



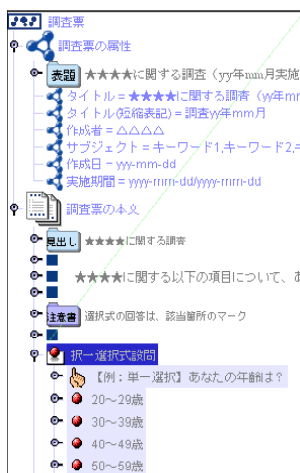
② PDFで印刷原稿をプレビュー

SQS Source Editor で作成したアンケート項目をもとに、アンケート用紙をPDF形式の文書として作成し印刷される状態をプレビューします。

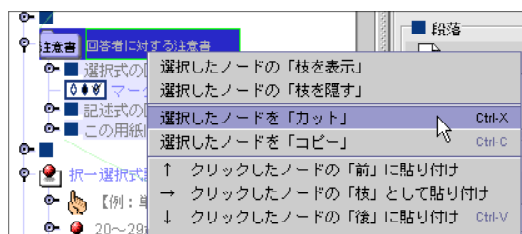


③ アンケート用紙の構造ウィンドウ

アンケート用紙に印刷される様々な部品（ノード）が表示されます。それぞれのノードをクリックすると右側のウィンドウに入力欄や設定欄が表示されます。ノードは階層形式になっているので、ノードの下に構成要素のノードがある場合は、ダブルクリックをするとその下に内容が表示されます。



- ※ 階層形式で各アンケートの部品（標題、質問項目、回答項目など）が表示されます。
- ※ ノードを選択し右クリックするとメニューが表示され、切り取りや貼り付けができます。



④ ノードの属性ウィンドウ

各ノードの表示される文字の入力や各種の設定を行います。




- ※ ノードの種類により、表示される内容は異なります。
- ※ 複数のノードを選択したときは選択したノードの設定内容のすべてが表示されます。

5 アンケート用紙の作成

ここでは、作成例のような基本的な5つのアンケートの質問形式（単一選択、複数選択、複数選択式（文章タイプ）、設問グループ、自由記述方式）を含んだアンケート調査用紙を作成します。

【例】学習に関する調査

★マークのしかた


学習に関する調査

学習に関する以下の項目について、あなたの考えをお聞かせください。

選択式の回答は、該当箇所のマーク○を塗りつぶしてご回答ください。
○: 空白マーク ●: 正しいぬりつぶし /: 不十分なぬりつぶし

記述式の回答は、回答欄からはみ出さないように記入してください。
この用紙は機械で処理します。回答欄以外に書き込みをしたり、用紙を汚したり、折り目を付けたりしないように注意してください。

(1) あなたの学年を答えてください。
 1学年 2学年 3学年

(2) あなたの学習状況について、以下の項目からあてはまることを1つ選んでください。（1つマーク）
 学校での学習はとても良く理解できるほうだ。
 学校での学習はまあまあ理解できるほうだ。
 学校での学習は教科によって理解できるものとできないものがある。
 学校での学習はあまりよくわからない。
 学校での学習はほとんど理解できない。

(3) あなたの好きな科目は何ですか？あてはまるものをすべてマークしてください。（複数回答可）
 国語 社会 数学 理科 音楽
 美術 保健体育 技術・家庭 外国語

(4) 普段の学習において、大切だと思うことをすべて選んでください。（複数回答可）
 授業中、先生の説明や友だちの発言をまじめにしっかりと聞くこと。
 授業中、しっかりとノートを取ること。
 宿題を期限までにしっかりとやること。
 宿題以外でも予習や復習をやること。
 授業に必要な教科書やノートなどの忘れ物をしないこと。

裏へ続く →

1 / 2
調査2017年06月

★マークのしかた



(5) 次の各内容について、あなたの取り組み状況はどうか。選択肢から一つ選んでください。（各項目から1つ選んでマーク）

	実現度				
	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	わからない
1 遅刻をしないで、登校する	○	○	○	○	○
2 あいさつや返事は、大きな声でできる	○	○	○	○	○
3 わからないところは、積極的に先生に質問する	○	○	○	○	○
4 友だちに質問されたらちゃんと教えてあげる	○	○	○	○	○
5 宿題は、ちゃんとやっている	○	○	○	○	○
6 テストがあるときは学習した内容をしっかりと復習してからテストを受ける	○	○	○	○	○
7 できなかった問題は、理解できるまで復習する	○	○	○	○	○
8 次の授業の準備は、しっかりとしている	○	○	○	○	○
9 提出物は、忘れずに提出している	○	○	○	○	○
10 教科書やドリル、ノートは大切に使っている	○	○	○	○	○

(6) 毎日の学習に関して悩んでいることや感じていることを自由に記入してください。

ご協力ありがとうございました。

【アンケートの構成】

対象：中学生

調査内容：学習に関する基本的な調査

調査方法：無記名、選択式5項目、記述式1項目

質問数：大項目6、全回答項目19

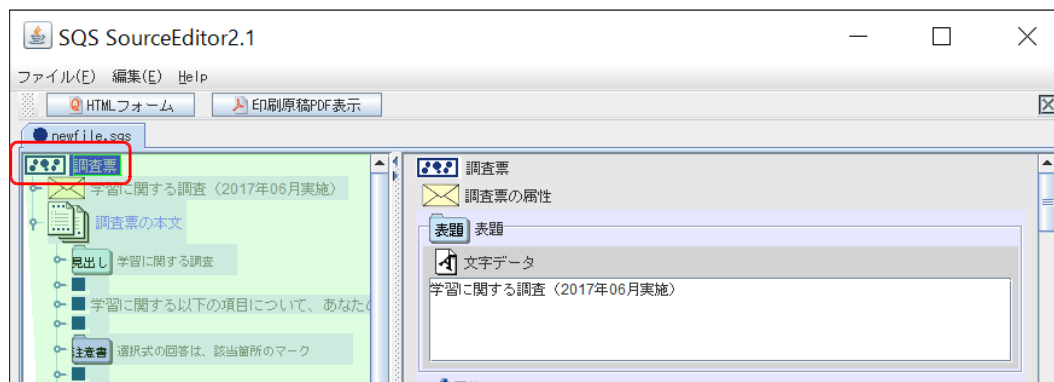
配付形式：2ページ両面印刷

6 調査表の属性項目の入力

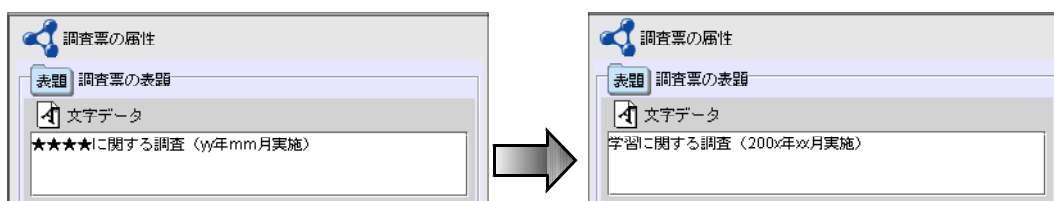
アンケートの基本的な内容を最初に入力します。アンケート調査用紙には「タイトル(短縮表示)」以外は表示されませんが、調査の記録等のために入力しておきましょう。

(0) [ファイル] → [新規作成] → [通常テンプレート] を選択して、基本となるテンプレートを準備します。

(1) 左の構造ウィンドウで「調査票の属性」をクリックして選択します。



(2) 右の属性ウィンドウの各項目に入力します。
文字データ「★★★★に関する調査 (yy年mm月実施)」の文字をクリックします。
文字を削除し、「**学習に関する調査 (200x年xx月実施)**」と入力します。
年月は、実際の作成日を入力してください。



※ 入力後、次の入力欄をクリック、あるいは左のウィンドウで他のノードをクリックすると入力が確定します。

(3) 以下同様に、下記の内容を入力します。

タイトル…「**学習に関する調査 (200x年xx月実施)**」

タイトル(短縮表示)…「**調査0x年xx月**」

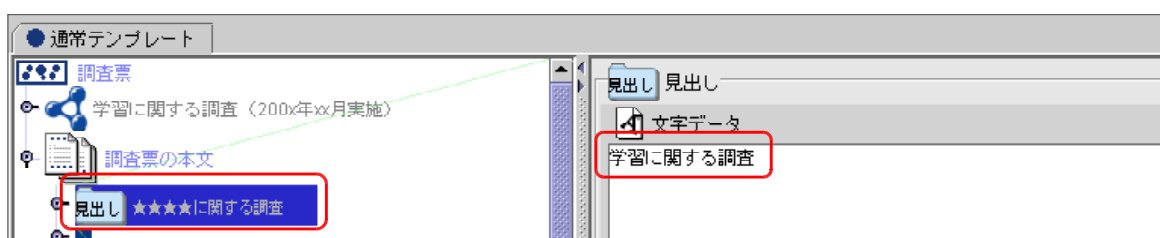
作成者…**自分の氏名**

サブジェクト…省略

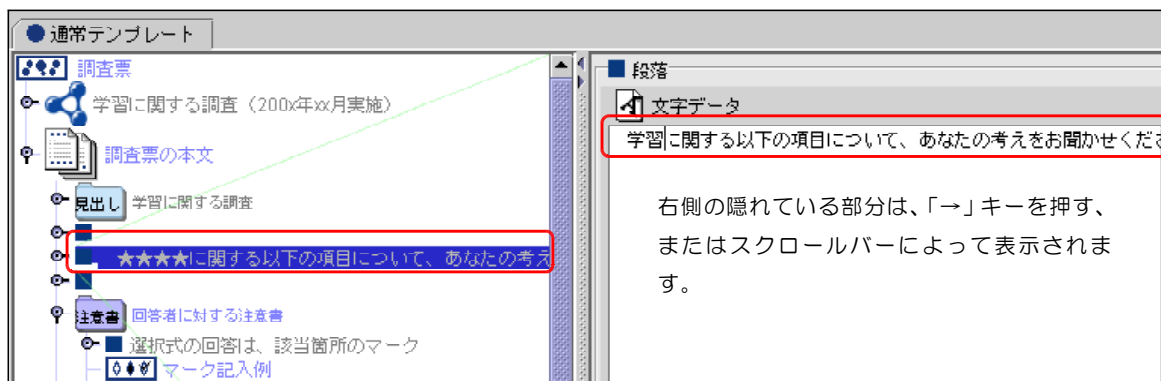
作成日…**調査用紙作成日**

実施期間…「**200x-xx-xx/200x-xx-xx**」 調査実施期間(用紙配付から回収まで)

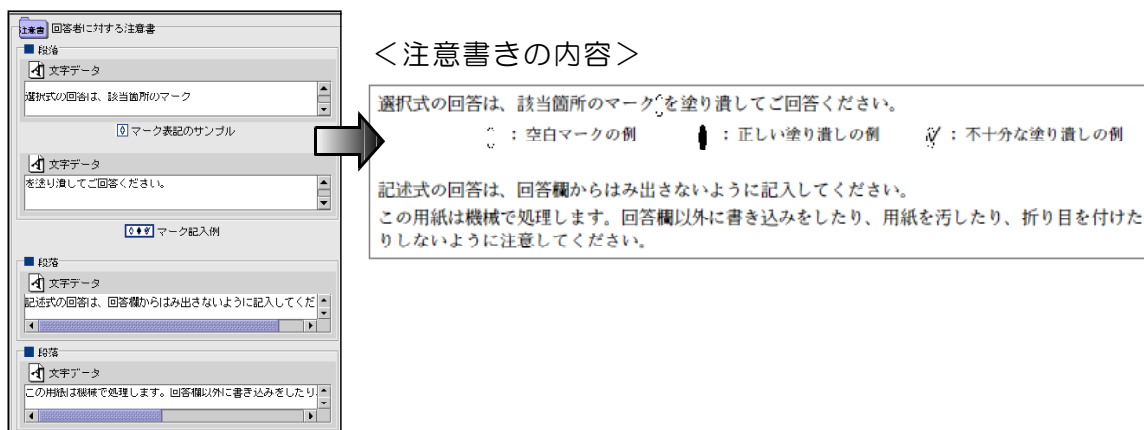
(4) 左の構造ウィンドウで「見出し」をクリックし、右の属性ウィンドウの文字データに「**学習に関する調査 (200x年xx月実施)**」と入力します。



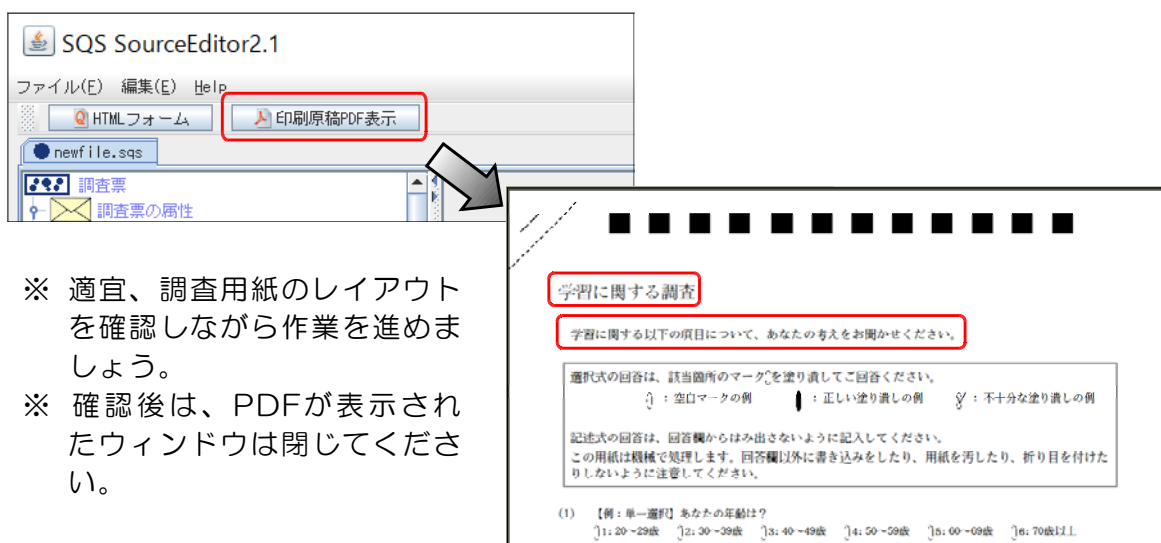
- (5) 同様にアンケート調査の依頼文になる「★★★★に関する以下の…」のノードをクリックし、右の属性ウィンドウの文字データに「**学習に関する以下の項目について、あなたの考えをお聞かせ下さい**」と入力します。



- (6) 「注意書」の属性は、基本的なマーク方法を記述している部分ですので変更の必要はありません。



- (7) ここまでの内容をプレビューして確認します。「印刷原稿PDF表示」のボタンをクリックします。



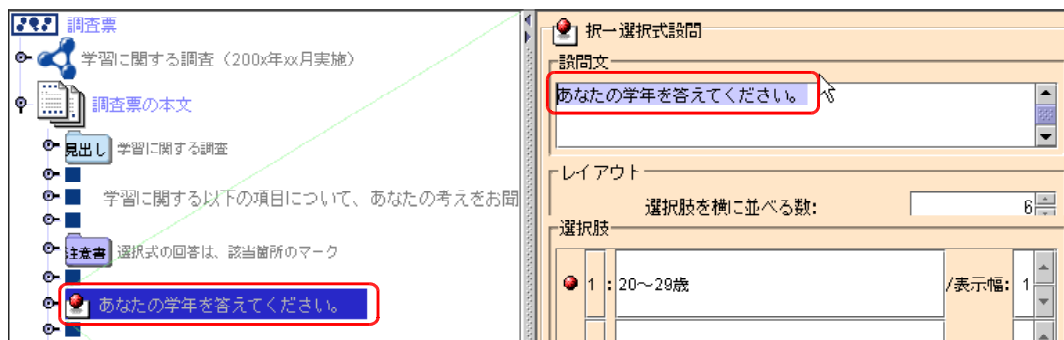
- ※ 適宜、調査用紙のレイアウトを確認しながら作業を進めましょう。
- ※ 確認後は、PDFが表示されたウィンドウは閉じてください。

7 アンケート項目、回答欄の作成

【質問項目 1】

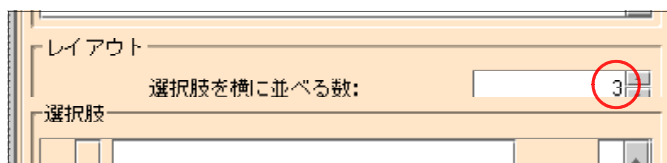
(1) 1つめの質問文と回答欄（単一選択型）を作成します。

「【例：単一選択】あなたの年齢は？」のノードをクリックし、属性ウィンドウで設問文に「**あなたの学年を教えてください。**」と入力してください。

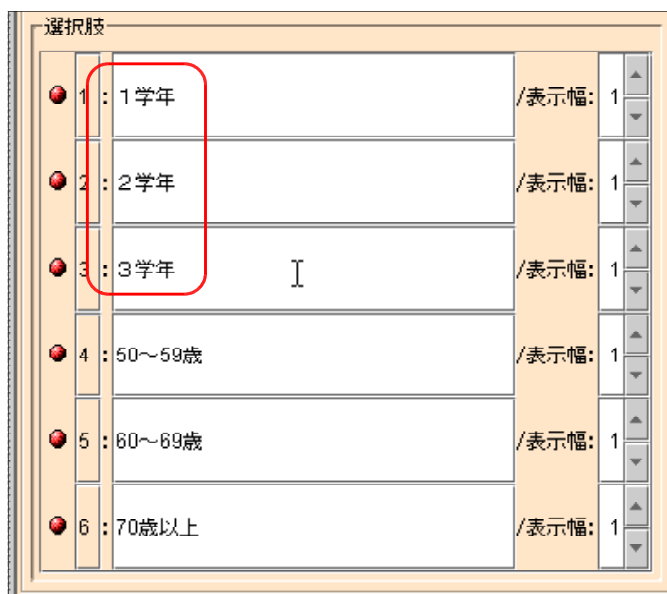


(2) レイアウト「選択肢を横に並べる数：」を「3」にします。

ここを変更することにより、選択肢を1列に並べる個数が変わります。

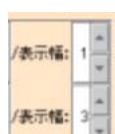


(3) 選択肢の3つの入力欄にそれぞれ「1 学年」「2 学年」「3 学年」と入力します。




【参考】「表示幅」について

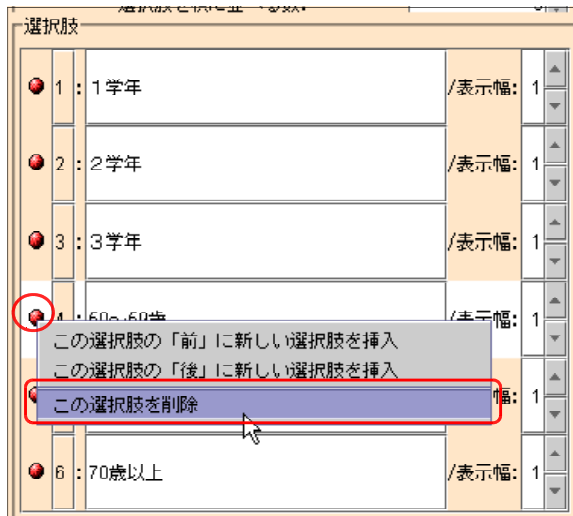
2以上に変更すると、次の選択項目が指定した位置分ずれて表示されます。



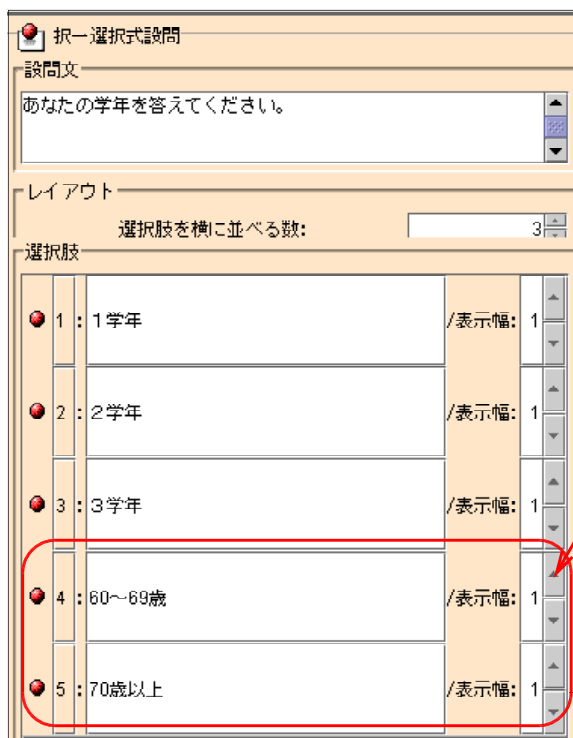
【例：単一選択】あなたの年齢は？
j1: 20~29歳 j2: 30~39歳 j3: 40~49歳 j4: 50~

【例：単一選択】あなたの年齢は？
j1: 20~29歳 j2: 30~39歳 j3: 4

- (4) 選択肢の4以降を削除します。選択肢4の「」の上で右クリックし、表示されるメニューから「この選択肢を削除」を選びます。

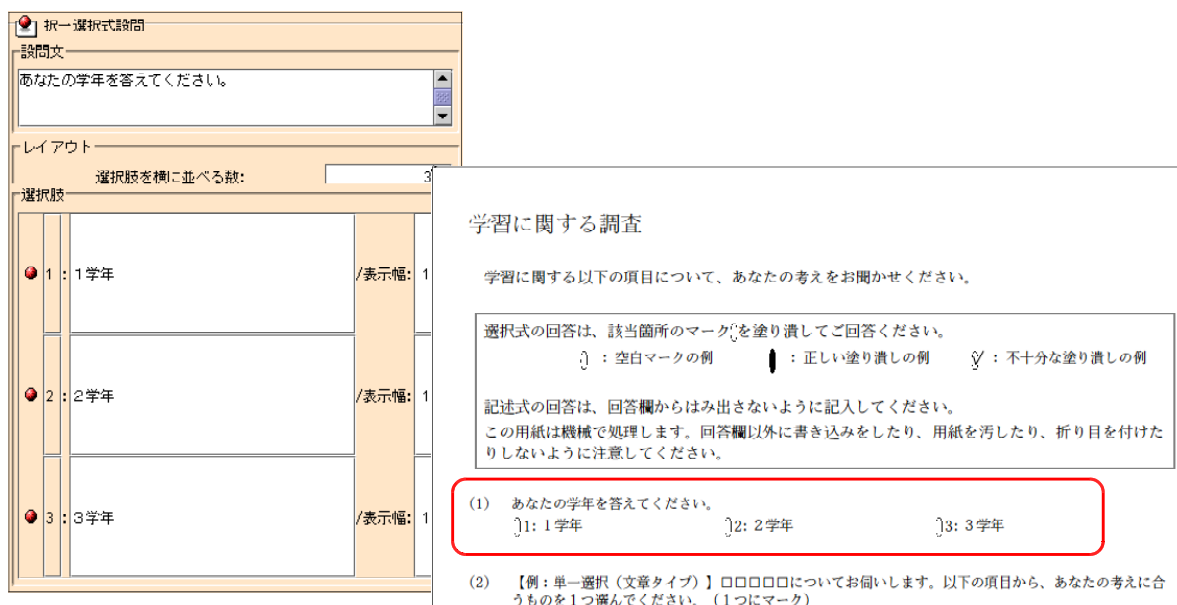


- (5) 選択肢4が削除されます。同様に残りの選択肢も削除します。



同様に削除します。

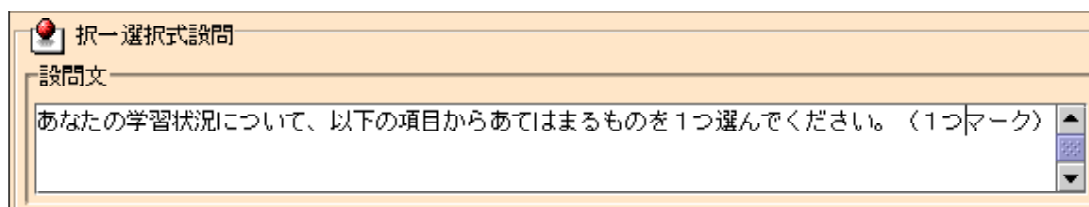
(6) 印刷される内容をプレビューで確認します。「印刷原稿PDF表示」のボタンをクリックします。



【質問項目2】

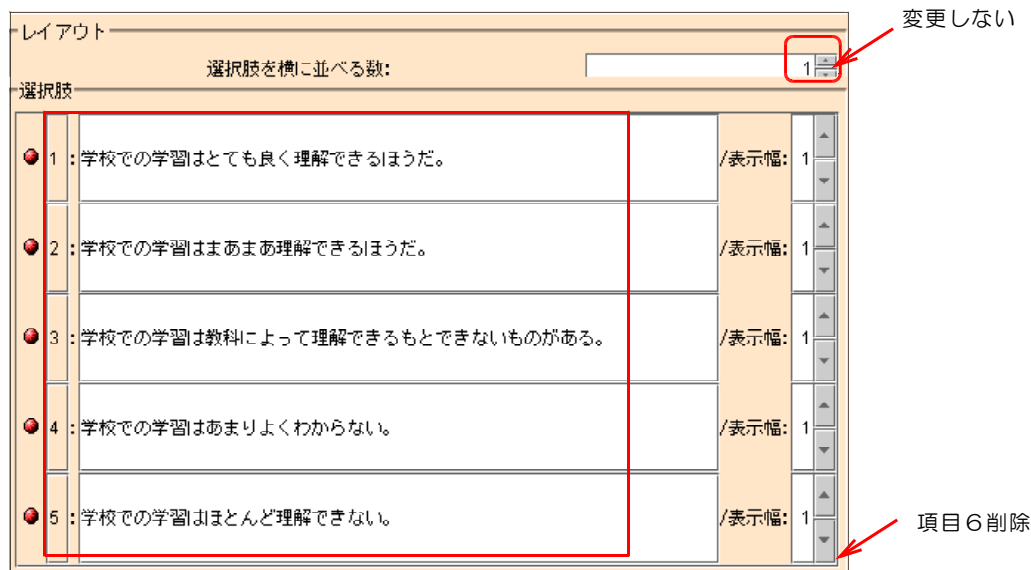
(7) 2つめの質問文と回答欄（単一選択文章タイプ）を作成します。

「【例：単一選択（文章タイプ）】□□□□□……」のノードをクリックし、属性ウィンドウで設問文に「あなたの学習状況について、以下の項目からあてはまるものを1つ選んでください。（1つマーク）」と入力してください。



※表示されないときは、スクロールバーを使って文字をスクロールします。または、ウィンドウの表示を広げるとすべてを表示します。

(8) 選択肢を以下のように入力します。余った項目6は削除します。



(9) 印刷される内容をプレビューで確認します。

(2) あなたの学習状況について、以下の項目からあてはまるものを1つ選んでください。(1つマーク)

- 〕1: 学校での学習はとても良く理解できるほうだ。
- 〕2: 学校での学習はまあまあ理解できるほうだ。
- 〕3: 学校での学習は教科によって理解できるもとできないものがある。
- 〕4: 学校での学習はあまりよくわからない。
- 〕5: 学校での学習はほとんど理解できない。

【質問項目3】

(10) 3つめの質問文と回答欄（複数選択）を作成します。

「【例：複数選択】お子さんが通う学校は？（複数回答可）」のノードをクリックし、属性ウィンドウで設問文に「あなたの好きな科目は何ですか。あてはまるものをすべてマークしてください。（複数回答可）」と入力してください。

(11) レイアウト「横に並べる数」を「5」にします。

(12) 選択肢を設定します。9科目の選択肢を設定しますので項目5の「🍎」の上で右クリックし、「この選択肢の「後」に新しい選択肢を挿入」を選んで追加します。

(13)同様にして選択肢を9つまで増やします。

<input type="radio"/>	4 : 専門学校・予備校	/表示幅:	1
<input type="radio"/>	5 : 大学	/表示幅:	1
<input type="radio"/>	6 :	/表示幅:	1
<input type="radio"/>	7 :	/表示幅:	1
<input type="radio"/>	8 :	/表示幅:	1
<input type="radio"/>	9 :	/表示幅:	1

(14) 選択肢の入力欄に、「国語」、「社会」、「数学」、「理科」、「音楽」、「美術」、「保健体育」、「技術・家庭」、「外国語」を順に入力します。

選択肢			
<input type="radio"/>	1 : 国語	/表示幅:	1
<input type="radio"/>	2 : 社会	/表示幅:	1
<input type="radio"/>	3 : 数学	/表示幅:	1
<input type="radio"/>	4 : 理科	/表示幅:	1
<input type="radio"/>	5 : 音楽	/表示幅:	1
<input type="radio"/>	6 : 美術	/表示幅:	1
<input type="radio"/>	7 : 保健体育	/表示幅:	1
<input type="radio"/>	8 : 技術・家庭	/表示幅:	1
<input type="radio"/>	9 : 外国語	/表示幅:	1

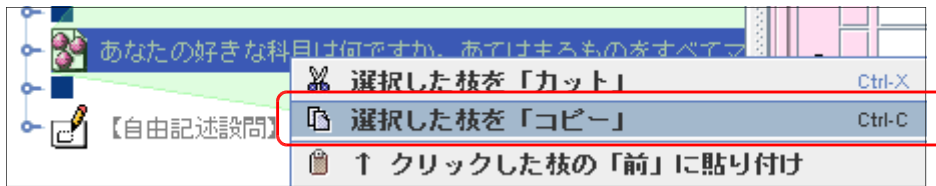
(15)プレビューで確認します。

(3) あなたの好きな科目は何ですか。あてはまるものをすべてマークしてください。(複数回答可)				
<input type="checkbox"/> 1: 国語	<input type="checkbox"/> 2: 社会	<input type="checkbox"/> 3: 数学	<input type="checkbox"/> 4: 理科	<input type="checkbox"/> 5: 音楽
<input type="checkbox"/> 6: 美術	<input type="checkbox"/> 7: 保健体育	<input type="checkbox"/> 8: 技術・家庭	<input type="checkbox"/> 9: 外国語	

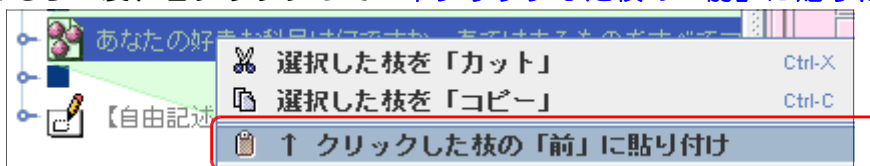
【質問項目 4】

(16) 4つめの質問文と回答欄（複数選択）を作成します。

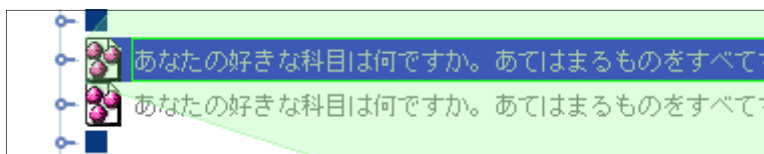
3つめの質問文「あなたの好きな科目は何ですか…」のノードを左クリックして選択します。選択した状態で右クリックして「選択した枝を「コピー」」を選びます。



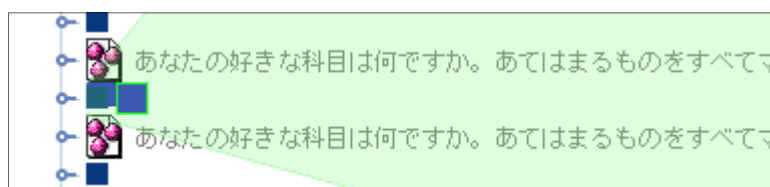
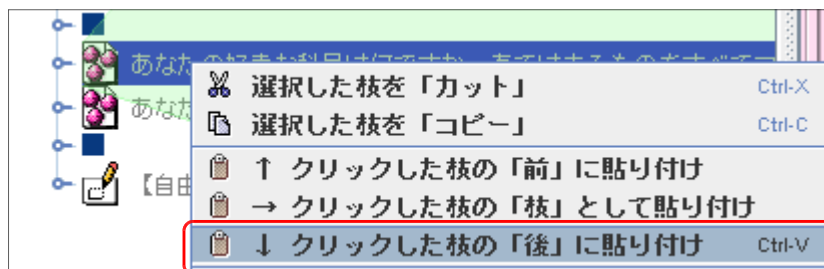
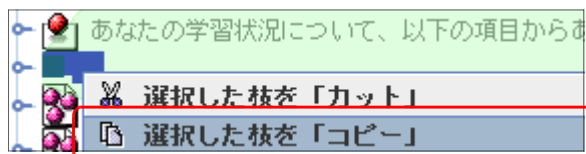
(17) もう一度、右クリックして「↑クリックした枝の「前」に貼り付け」を選びます。



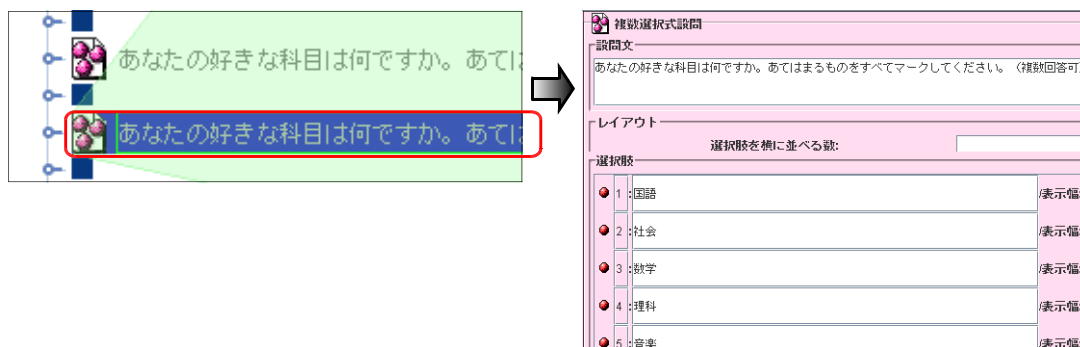
下の図のように2つに増えます



(18) 「■」のノードをコピーして2つの間に間に入れます。

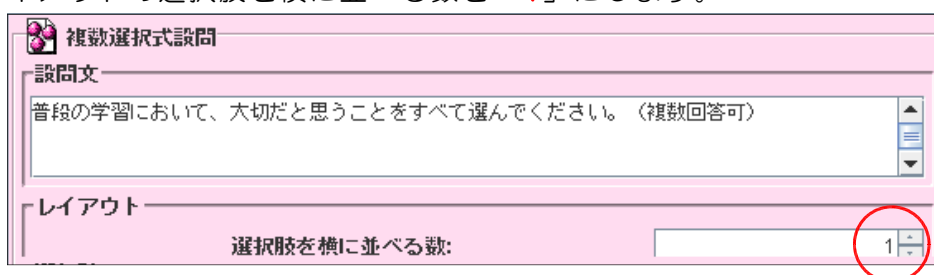


(19)下にある「あなたの好きな科目は何ですか・・・」のノードをクリックすると選択肢の項目が右のウィンドウに表示されます。



(20)設問文に「**普段の学習において、大切だと思うことをすべて選んでください。(複数回答可)**」と入力します。

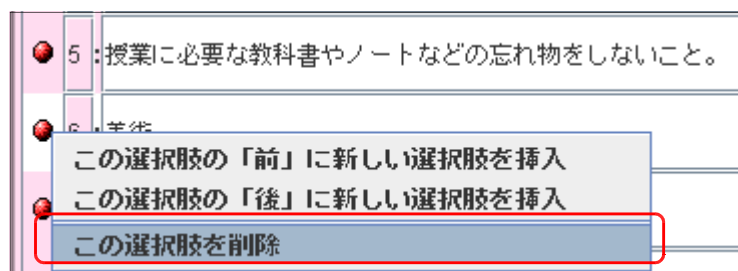
レイアウトの選択肢を横に並べる数を「1」にします。



(21)選択肢の各設問文に5つの項目を、以下の通り順に入力します。

- ① 「授業中先生の説明や友だちの発言をまじめにしっかりと聞くこと。」
- ② 「授業中しっかりとノートを取ること。」
- ③ 「宿題を期限までにしっかりとやること。」
- ④ 「宿題以外でも予習や復習をやること。」
- ⑤ 「授業に必要な教科書やノートなどの忘れ物をしないこと。」

(22)選択肢の6番目を削除します。●を右クリックして「この選択肢を削除」を選びます。



同様にして、7～9番目を削除します。

(27)プレビューで確認します。

4	宿題以外でも予習や復習をやること。	○
5	授業に必要な教科書やノートなどの忘れ物をしないこと。	○

裏へ続く →

1 / 2
調査xx年xx月

※「右寄せ」や「中央揃え」の機能がないので、空白（□）で文字揃えを行います。

【質問項目 5】

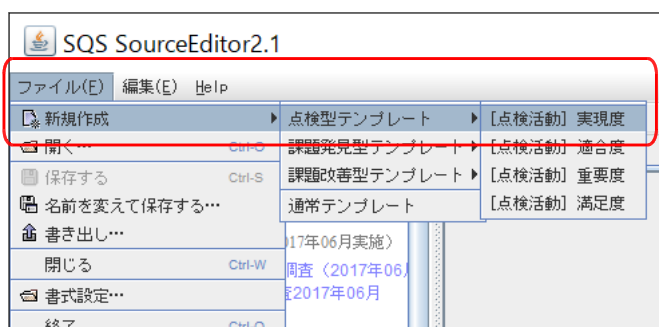
(28)複数選択式（複数設問項目・同一選択肢）の質問文と回答欄を他のテンプレートから複写する方法で作成します。

(1) 【例：尺度型（実現度）】□□□□□□についてお伺いします。以下の各項目について、○○○○○において「実現できていると思うか【実現度】」をお答えください。（各項目、1つずつマーク）

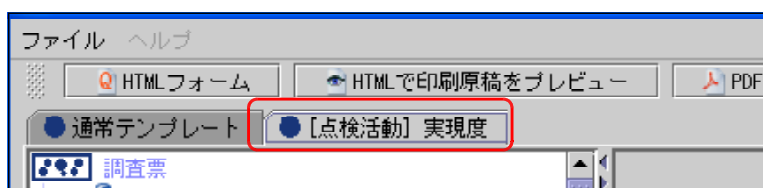
		実現度		
		上 大 出 来 て い る	中 大 出 来 て い る	お か ら な い
1	□□が、△△△△△△△△をすること1	○	○	○
2	□□が、△△△△△△△△をすること2	○	○	○
3	□□が、△△△△△△△△をすること3	○	○	○

※同一の選択肢で回答をする場合に用いる設問グループ形式の項目です。

(29)メニューバーの「ファイル」をクリックし、表示されるメニューから「新規作成」→「点検型テンプレート」→「【点検活動】 実現度」を選びます。

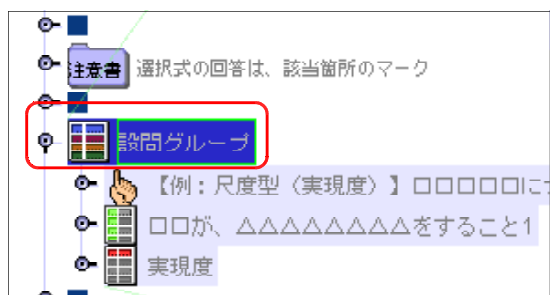


(30)メイン画面に新しいタブ付きのウィンドウが表示されます。

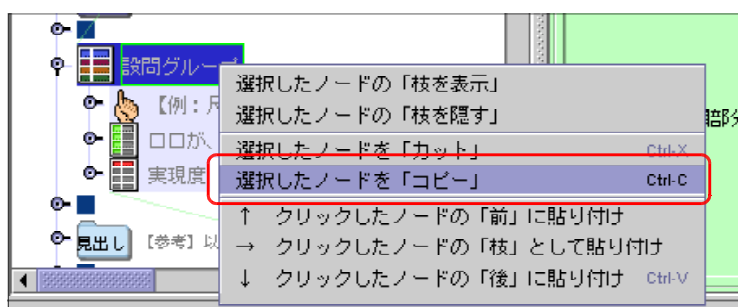


※ 画面を切り替えるには表示したいアンケートの名前のタブをクリックします。

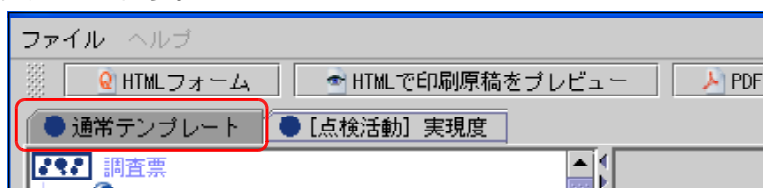
(31) [点検活動] 実現度の左の構成ウィンドウのノードから、1問目の「設問グループ」を選択します。



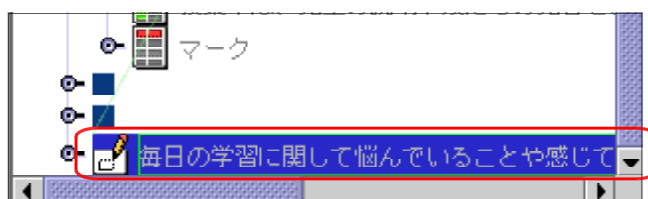
(32) 右クリックしてメニューから、「選択したノードを「コピー」」を選びます。



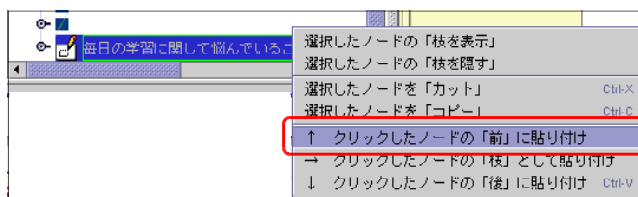
(33) 通常テンプレートの画面に切り替えます。上の「●通常テンプレート」タブをクリックします。



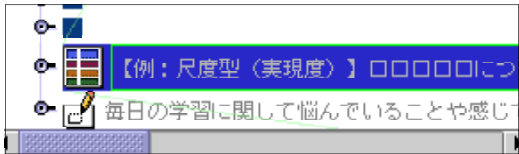
(34) 通常テンプレートのノードが表示されますので、最後の記述式「毎日の学習に…」のノードを選択し、右クリックします。



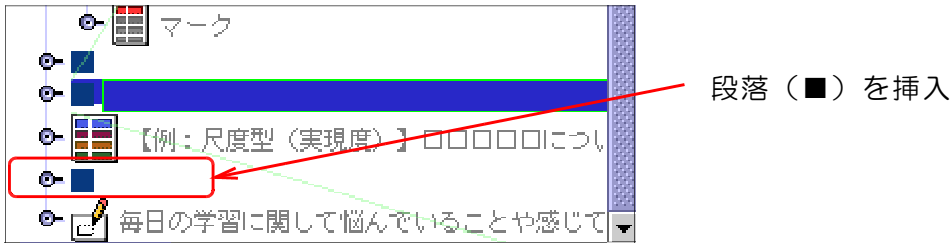
(35) 表示されたメニューから「選択したノードの前に貼り付け」を選択します。



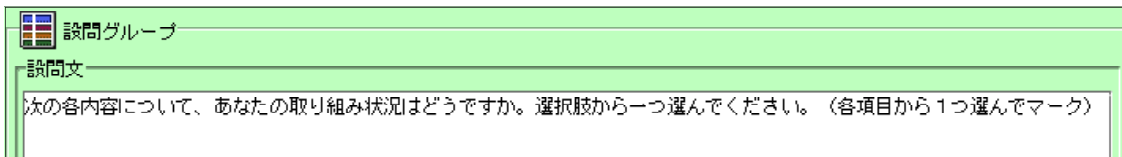
(36)「選択グループ【例：尺度型（……）」が挿入されました。



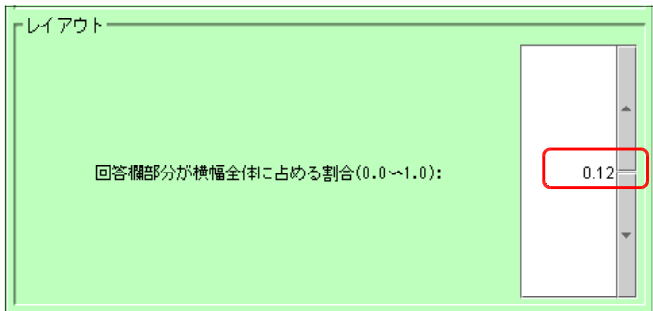
(37)上の「■」をコピーして、アンケート項目のノード間に挿入します。



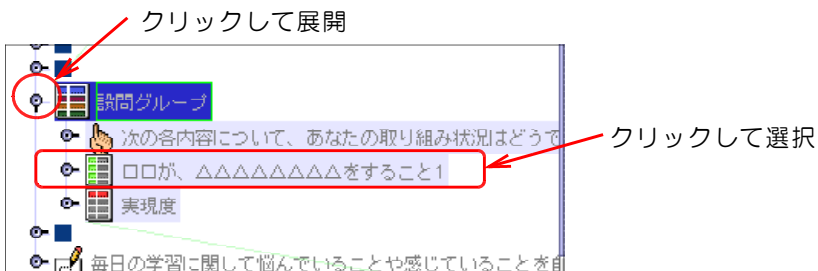
(38)設問グループ「【例：尺度型（実現度）】……」のノードをクリックし、右の画面の設問文に「次の各内容について、あなたの取り組み状況はどうか。選択肢から1つ選んでください。（各項目から1つ選んでマーク）」と入力します。



(39)レイアウトの値は変更しません。



(40)設問グループのノードの内容を開き、「□□が、△△△△△……」を選択します。



(41)右のウィンドウで、設問文に以下の10項目を入力します。

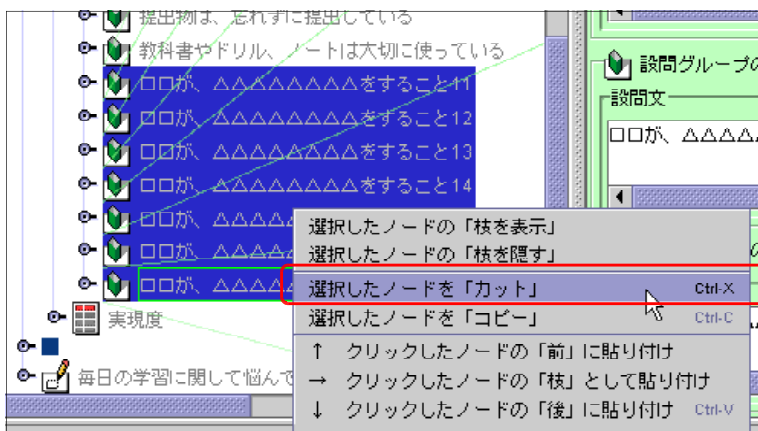
- ①「遅刻をしないで、登校する」
- ②「あいさつや返事は、大きな声でできる」
- ③「わからないところは、積極的に先生に質問する」
- ④「友だちに質問されたらちゃんと教えてあげる」
- ⑤「宿題は、ちゃんとやっている」
- ⑥「テストがあるときは学習した内容をしっかりと復習してからテストを受ける」
- ⑦「できなかった問題は、理解できるまで復習する」
- ⑧「次の授業の準備は、しっかりとしている」
- ⑨「提出物は、忘れずに提出している」
- ⑩「教科書やドリル、ノートは大切に使っている」

(42)11番目以降の設問文を削除します。左のウィンドウで、削除するノードをマウスで範囲指定します。

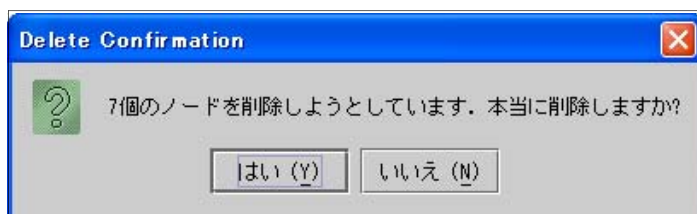


※各ノードに係るように斜めにドラッグします。青色反転で範囲が指定されます。

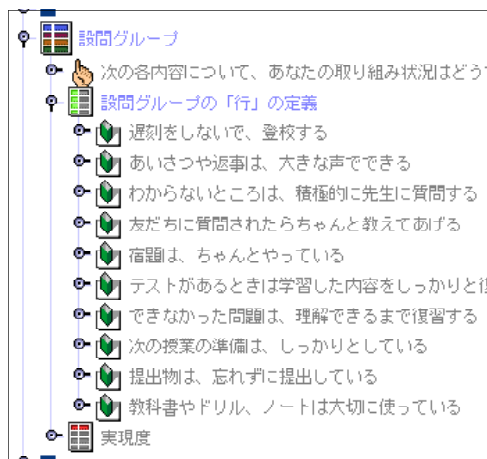
(43)右クリックをしてメニューから「選択したノードを「カット」」を選択します。



(44) 次のメッセージが表示されます。「はい」のボタンをクリックします。



(45) 削除され、10個の設問文が設定されました。

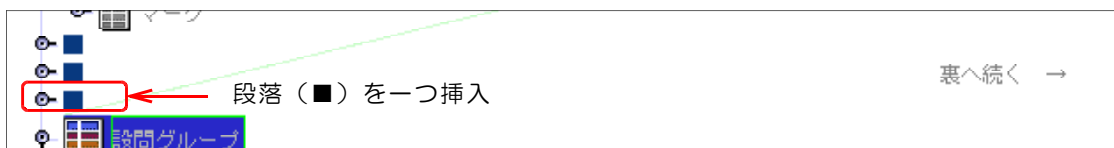


(46) プレビューで確認します。

(5) 次の各内容について、あなたの取り組み状況はどうか。選択肢から1つ選んでください。（各項目から1つ選んでマーク）

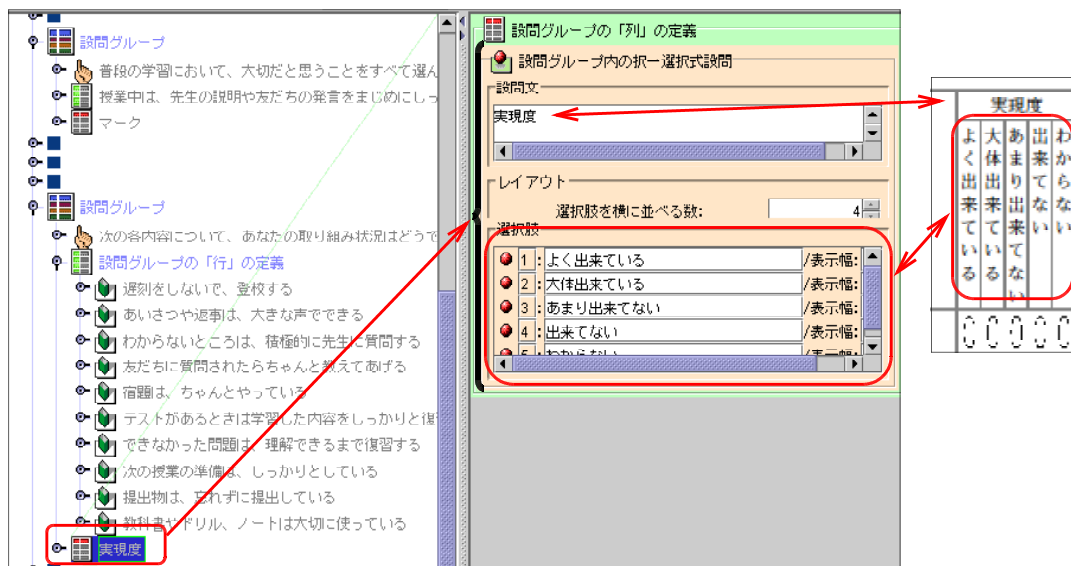
		実現度		
		よく出来ている	あまり出来ていない	わからない
1	遅刻をしないで、登校する	0	0	0
2	あいさつや返事は、大きな声でできる	0	0	0
3	わからないところは、積極的に先生に質問する	0	0	0
4	友だちに質問されたらちゃんと教えてあげる	0	0	0
5	宿題は、ちゃんとやっている	0	0	0
6	テストがあるときは学習した内容をしっかりと復習してからテストを受ける	0	0	0
7	できなかった問題は、理解できるまで復習する	0	0	0
8	次の授業の準備は、しっかりとしている	0	0	0
9	提出物は、忘れずに提出している	0	0	0
10	教科書やドリル、ノートは大切に使っている	0	0	0

(47)この設問グループの前にもう一つ段落（■）を挿入します。



※ 設問項目「列」(回答選択肢の欄)

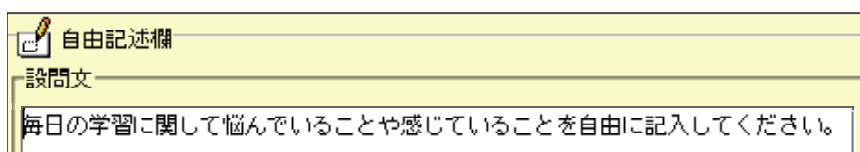
選択肢の内容を変更することが可能です。左のウィンドウで、回答選択肢（この場合は「実現度」）をクリックし、右側に表示される各項目を設定します。



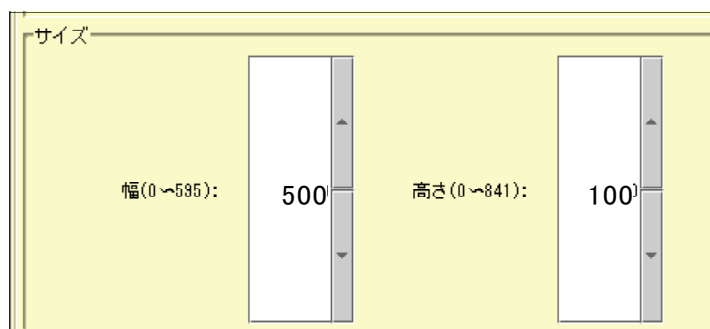
【質問項目 6】

(48) 6つめの質問文と回答欄（自由記述型）を作成します。

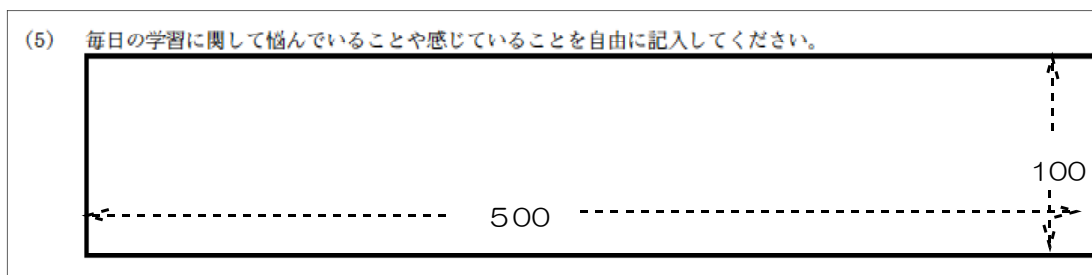
「【例：自由記述欄】□□□に関してご意見…」のノードをクリックし、属性ウィンドウで質問文に「**毎日の学習に関して悩んでいることや感じていることを自由に記入してください。**」と入力します。



(49) サイズで [幅] を「500」、[高さ] を「100」にします。



(50)プレビューで確認します。回答欄の幅、高さの指定は以下のようになっています。



(51)全体をプレビューし、バランスを確認します。

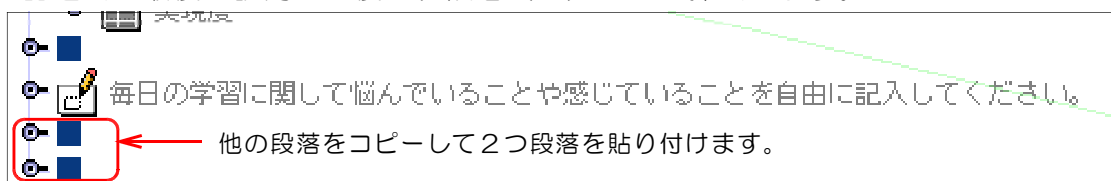
各設問や説明文は、段落（■）で行間をとっています。これを挿入・削除することによってうまくページに収まるようにバランスを取ってください。

※ 回答のしやすさを第一に考えてレイアウトしてください。

【コメント】

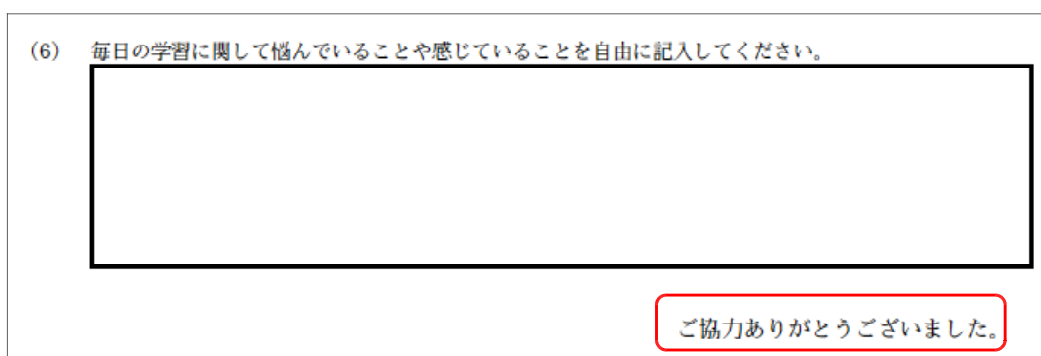
(52)最後に、調査協力に対するお礼文を挿入します。

記述式の最後の設問文の後に、段落（■）を2つ挿入します。



(53)一番最後の段落を選択し、右側のウィンドウの文字データに以下のように入力します。空白は、適宜挿入してください。

「□□□□□□□□□□……□□□□□□□□ご協力ありがとうございました。」



※ 協力のお礼文は、必ず表示しましょう。

【作成されたアンケート】

★マークのしかた

悪い 良い

学習に関する調査

学習に関する以下の項目について、あなたの考えをお聞かせください。

選択式の回答は、該当箇所のマークを塗りつぶしてご回答ください。
: 空白マーク : 正しいぬりつぶし : 不十分なぬりつぶし

記述式の回答は、回答欄からはみ出さないように記入してください。
 この用紙は機械で処理します。回答欄以外に書き込みをしたり、用紙を汚したり、折り目を付けたりしないように注意してください。

(1) あなたの学年を答えてください。
 1学年 2学年 3学年

(2) あなたの学習状況について、以下の項目からあてはまることを1つ選んでください。(1つマーク)
 学校での学習はとても良く理解できるほうだ。
 学校での学習はまあまあ理解できるほうだ。
 学校での学習は教科によって理解できるものとできないものがある。
 学校での学習はあまりよくわからない。
 学校での学習はほとんど理解できない。

(3) あなたの好きな科目は何ですか?あてはまるものをすべてマークしてください。(複数回答可)
 国語 社会 数学 理科 音楽
 美術 保健体育 技術・家庭 外国語

(4) 普段の学習において、大切だと思うことをすべて選んでください。(複数回答可)
 授業中、先生の説明や友だちの発言をまじめにしっかりと聞くこと。
 授業中、しっかりとノートを取ること。
 宿題を期限までにしっかりとやること。
 宿題以外でも予習や復習をやること。
 授業に必要な教科書やノートなどの忘れ物をしないこと。

裏へ続く →

1 / 2
調査日: 7年06月

1 ページ目 (表)

★マークのしかた

悪い 良い

どうですか。選択肢から一つ選んでください。(各項目から1つ選んで)

	実得度			
	よく出来ている	まあまあ出来ている	出来ていない	わからない
3	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

2 ページ目 (裏)

3 わからないところは、積極的に先生に質問する

4 友だちに質問されたらちゃんと教えてあげる

5 宿題は、ちゃんとやっている

6 テストがあるときは学習した内容をしっかりと復習してからテストを受ける

7 できなかった問題は、理解できるまで復習する

8 次の授業の準備は、しっかりとしている

9 提出物は、忘れずに提出している

10 教科書やドリル、ノートは大切に使っている

(5) 毎日の学習に関して悩んでいることや感じていることを自由に記入してください。

ご協力ありがとうございました。

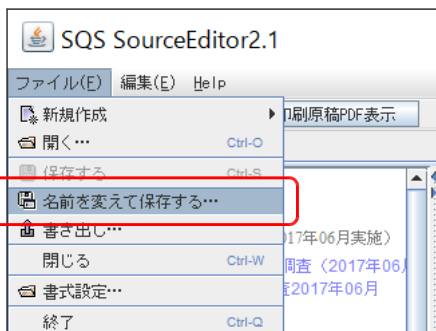
2 / 2
調査日: 7年06月

8 アンケート項目データの保存

作成されたアンケートのデータを保存します。保存するものは以下の2種類のファイルです。保存のしかたが異なりますので注意してください。

- ① SQSで作成されたファイル（アンケートの設計図）
- ② SQSファイルを元に生成されたPDFファイル（印刷されるアンケート用紙）


- (1) SQSファイル（****.sqs形式）を保存します。メニューバーの「**ファイル**」から、「**名前を変えて保存する**」を選択します。

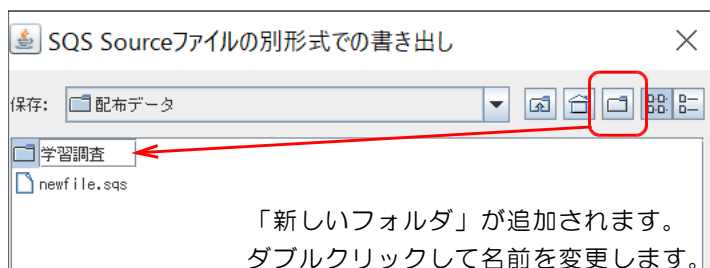


- (2) SQSファイルを保存するフォルダを選択し、ファイル名を「**学習調査.sqs**」とします。拡張子（.sqs）は変更や削除しないように注意してください。

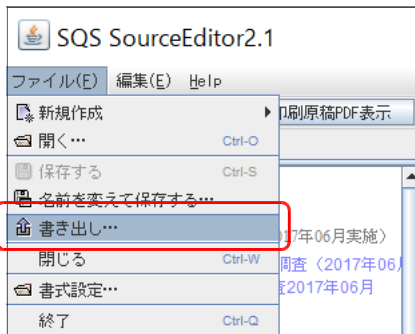


※参考

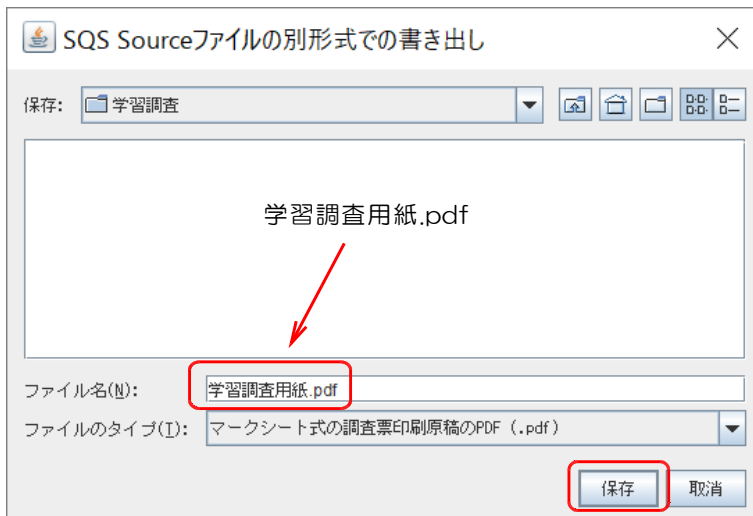
「」ボタンで新しいフォルダを作成することができます。その場合は適宜、フォルダ名を付けてください。



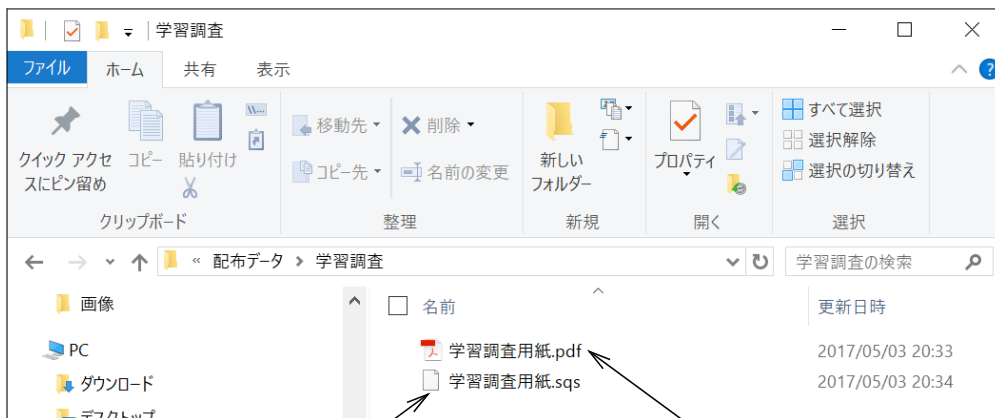
- (3) PDFファイルを保存します。メニューバーの「ファイル」から、「書き出し」を選択します。



- (4) 「学習調査用紙.pdf」と名前を入力して、「保存」ボタンをクリックします。

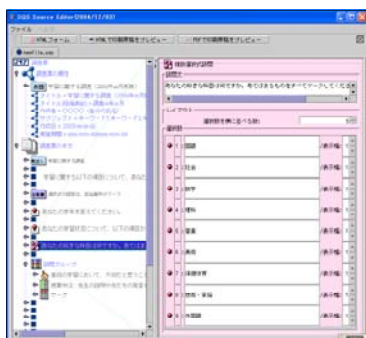


- (5) フォルダの内容は以下のようになります。



① アンケートの設計図 SQS のファイル (.sqs)

② 印刷される用紙 PDF のファイル (.pdf)

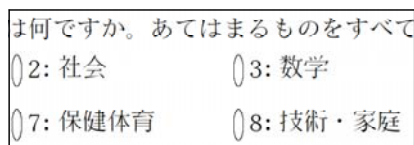


9 アンケート用紙の印刷

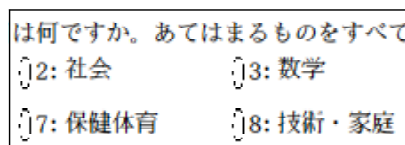
アンケート用紙の印刷は、PDFファイルから印刷します。以下の点に注意して印刷してください。

【印刷の注意点】

- ①原稿はくっきり印刷するため、できるだけ**上質紙**を使って印刷してください。
- ②印刷モードを選択できる場合には、「精細」、「きれい」等の**高画質での印刷モード**を選択します。画質を低くすると、文字やマーク塗りつぶしの線が欠けてしまうことがあります。

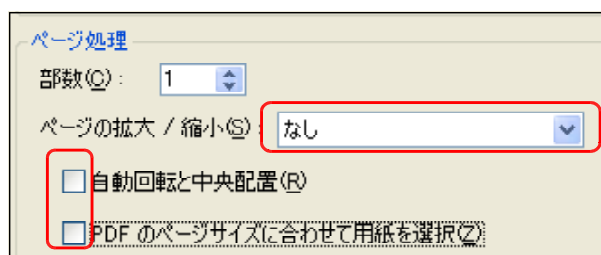


【高品質】



【通常】

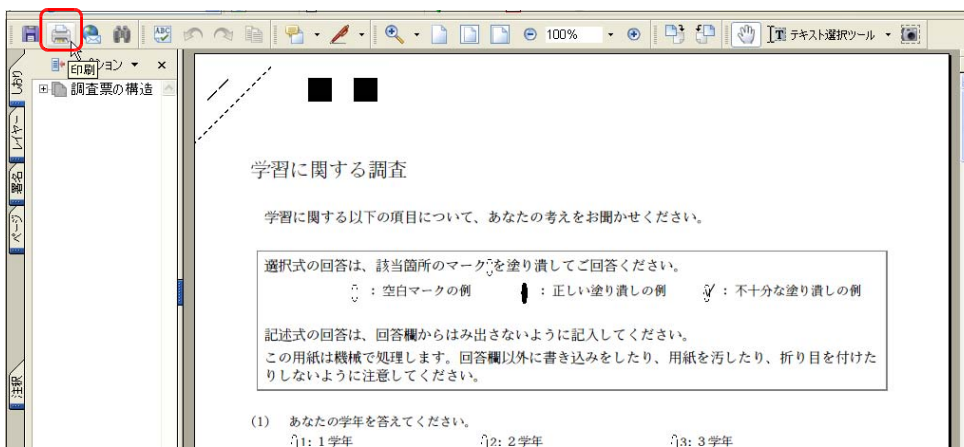
- ③印刷時に自動的にページに収まるようなサイズ指定の設定がされていると、正しく読み取りができない場合があります。印刷時には設定をはずしてください。



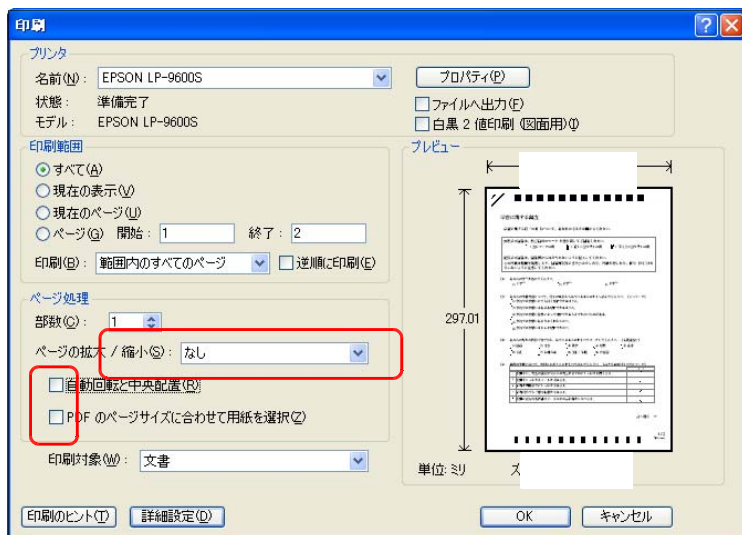
- (1) SQSMarkReader の画面で、「印刷原稿PDF表示」のボタンをクリックし、プレビューします。



- (2) 表示されたプレビュー画面で「印刷」ボタンをクリックします。

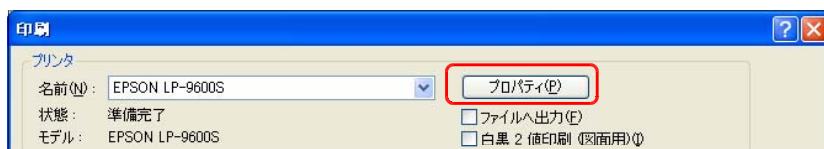


- (3) 印刷の設定画面で、「ページ処理」のサイズ設定のチェックをはずします。

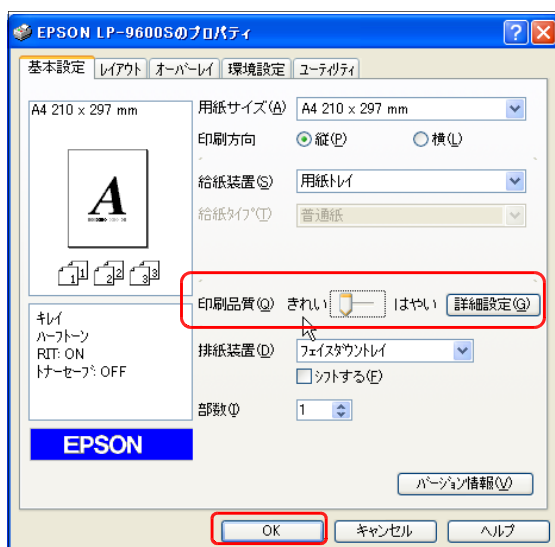


※ページ処理の設定を外して、用紙の印刷が自動的に調整されマーク位置がずれてしまうのを防ぎます。

- (4) 「プリンタ」の「プロパティ」のボタンをクリックします。

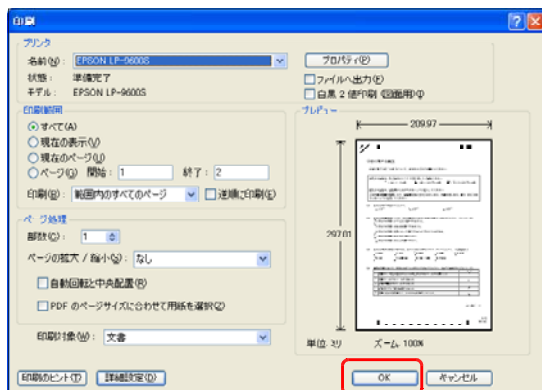


- (5) 印刷の品質を「きれい」、「高精細」、「高画質」等の設定にし、「OK」ボタンをクリックします。



※プリンタの機種により設定は異なります。

- (6) 印刷の画面で「OK」ボタンをクリックし、印刷を開始します。



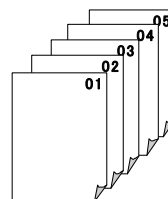
※PDFファイルを直接開いても同様に印刷することができます。その場合も、印刷品質等の各種の設定をしてください。


II PDFからTIFFへ変換

1 アンケート用紙のスキャン（PDFファイルとして保存）

(1) 読み取るアンケート用紙を確認します。

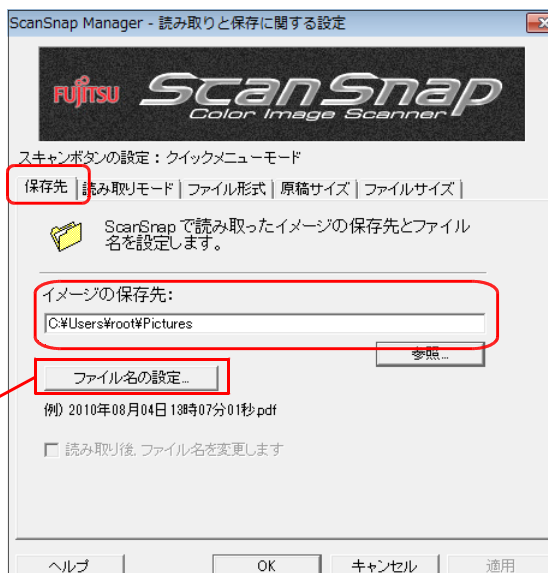
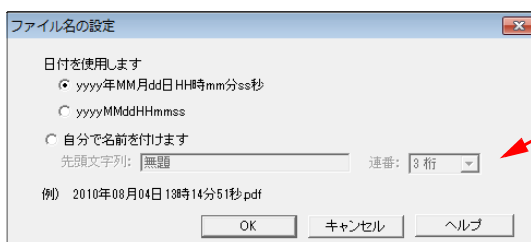
- ・上から順番に並べます。
- ・裏表、上下逆になっていないか確認します。
- ・後で確認しやすいように**番号を記入**します。
- ・読み込みがうまくいくようにしっかり裁きます。



(2) スキャンスナップの設定をします。画面右下のタスクバー内にある  アイコンをダブルクリックして下の画面を表示します。

① 「保存先」タブをクリックし、「イメージの保存先」の [参照] ボタンをクリックし、作業するフォルダを指定します。

ファイル名の設定変更もできます。

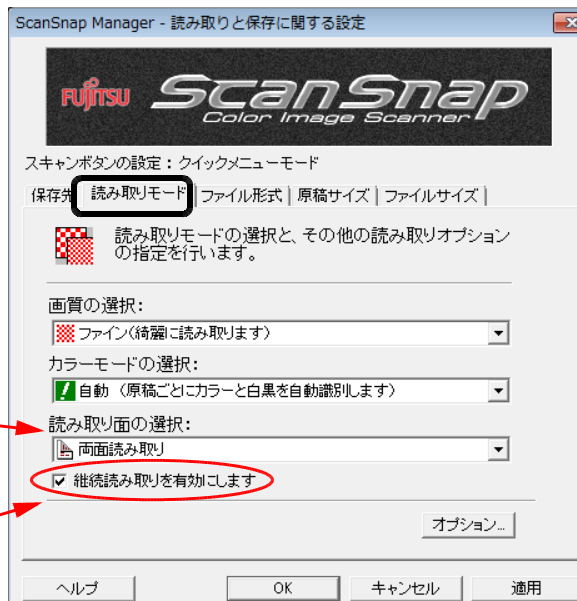


② 「読み取りモード」タブをクリックし、以下のように設定してあるか確認します。また、オプションボタンをクリックし、以下のようにチェックがされているか確認します。

- ・「画質の選択：」
→ 「**ファイン**」
- ・「カラーモードの選択：」
→ 「**自動**」
- ・「読み取り面の選択：」
→ 「**両面読み取り**」

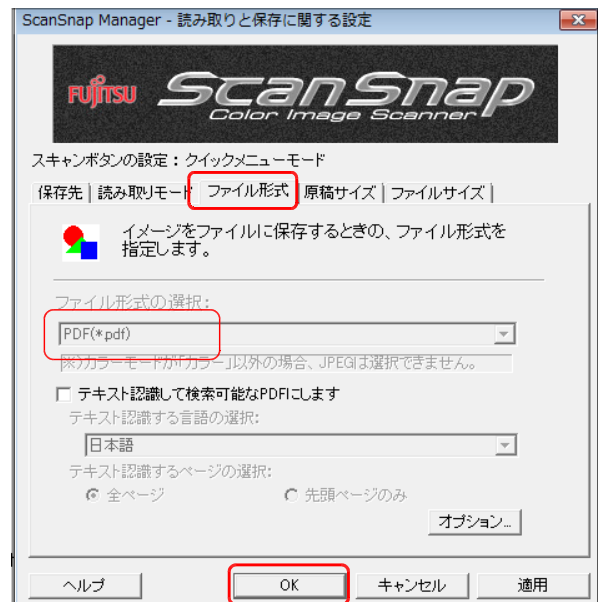
※片面の場合は「片面読み込み」にします

枚数が多いときは
継続読み取りを有効に！



- ③ 「**ファイル形式**」タブをクリックし、「**ファイル形式の選択:**」を「**PDF(*.pdf)**」にします。

※通常はPDFになってます

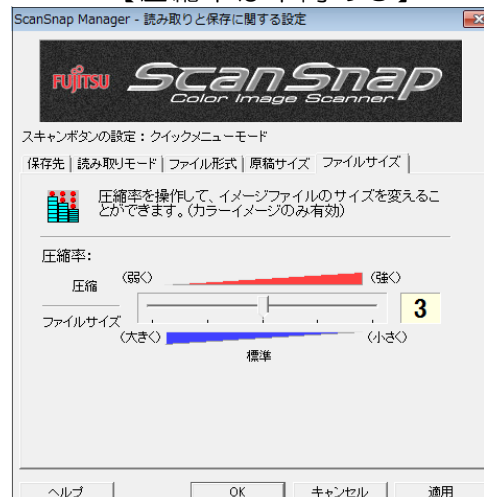


- ④その他は、特に設定しませんが、下記のようにになっていることを確認します。

【通常A4サイズ】

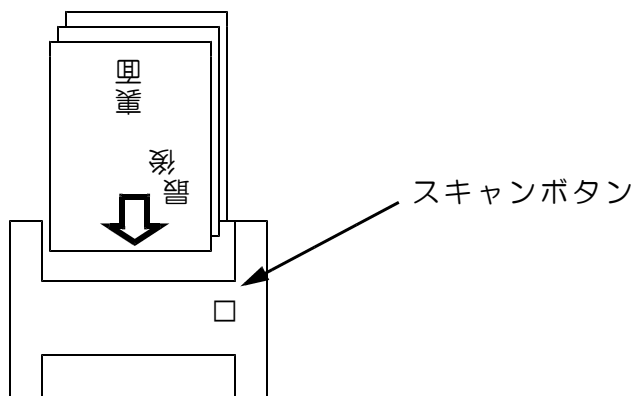


【圧縮率は中間の3】



- (3) スキャナ (ScanSnap) のフタを開けると電源が入ります。アンケート用紙をセットし、**[スキャンボタン]** を押します。

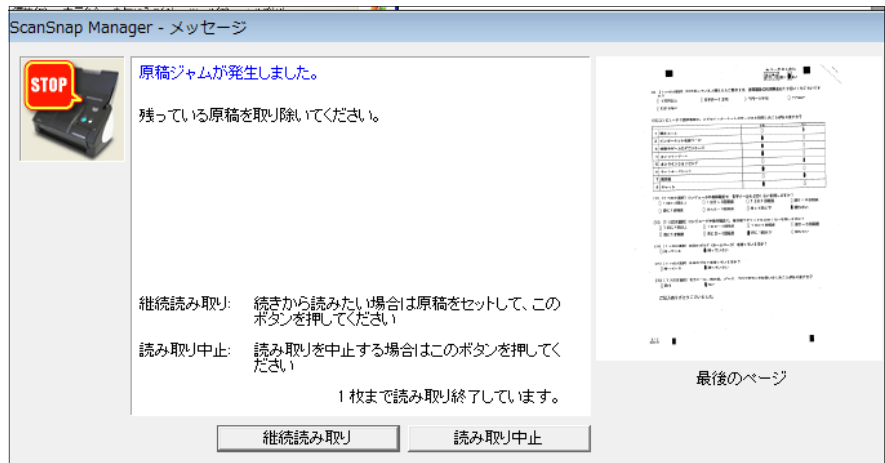
- 良く裁いてください。
- **1番目の表が奥**になるようにし、**用紙の上側が下**になるようにセットします。



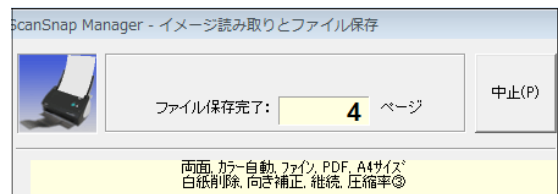
- スキャンボタンを押します。
- スキャンの際に、読み飛ばしなどエラーがないように確認していきましょう。
※湿度が影響します。また紙質も影響することがあるので**中質紙以上**を勧めます。

(4) エラーメッセージ

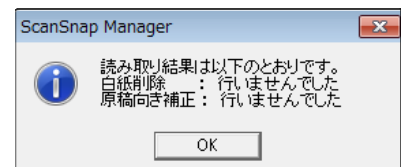
このように原稿ジャム発生（紙詰まり）のメッセージが表示されることがあります。数枚であれば「**継続読み取り**」を行います。数が多いときは「**読み取り中止**」にしてやり直した方が良いでしょう。



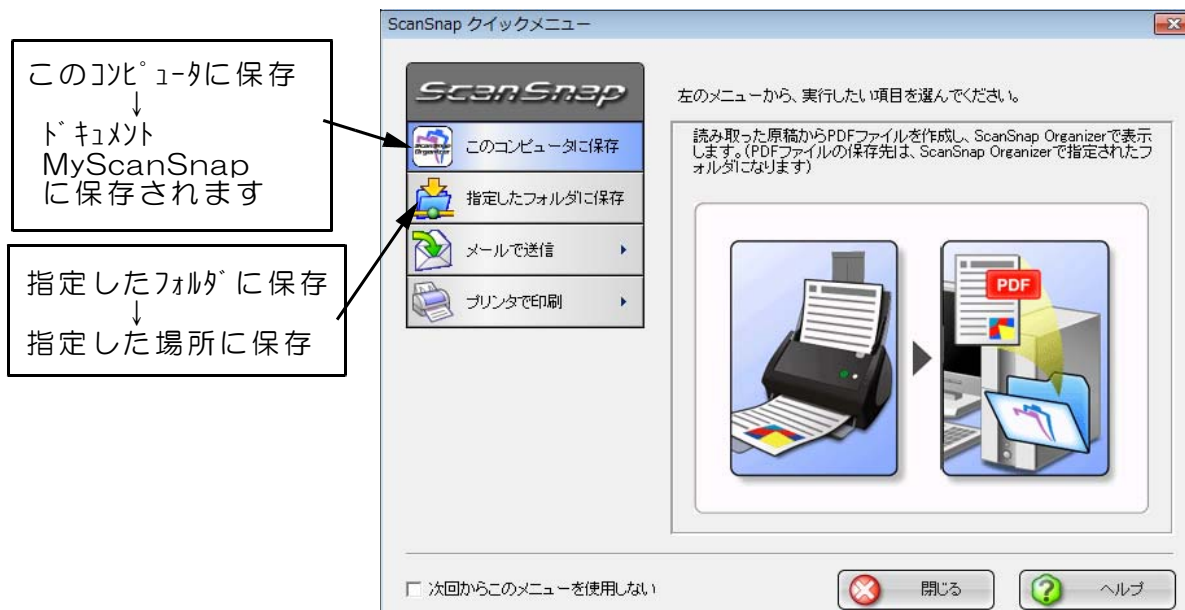
※イメージ読み取りが順調なときには次のように表示されます。



(5) スキャンが終了すると確認のダイアログが表示されます。「**OK**」をクリックしてください。

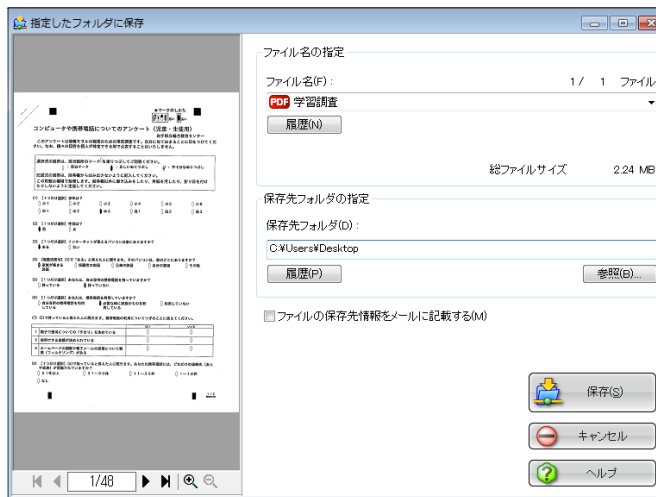


(6) スキャンスナップのインストール時に詳細設定している場合に以下の画面が表示されます。

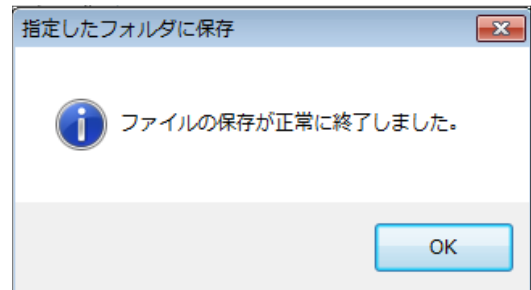


(7) 「指定したフォルダに保存」を選択した場合

ファイル名と保存先を、ここで設定することもできます。

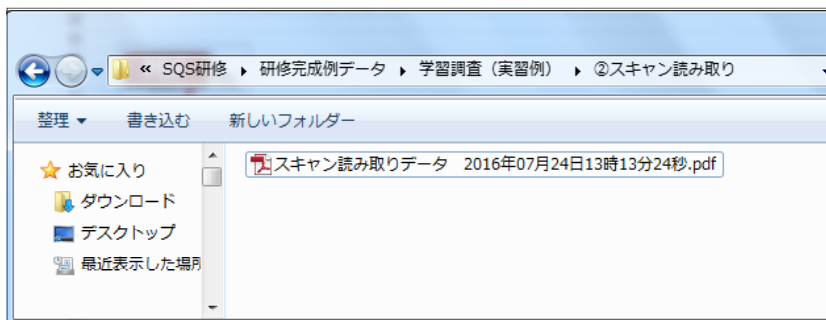


保存終了の表示

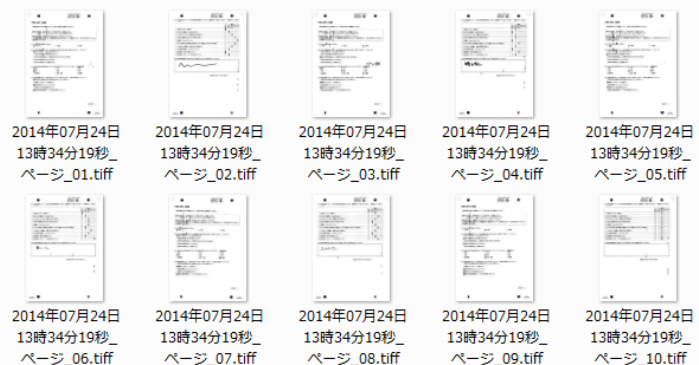


2 PDFからTIFFに変換

フォルダには、以下のようにPDFファイルが1つ入ります。この中には、回答済みの人数分のスキャンされた用紙が連続して1つのデータとして保存されています。



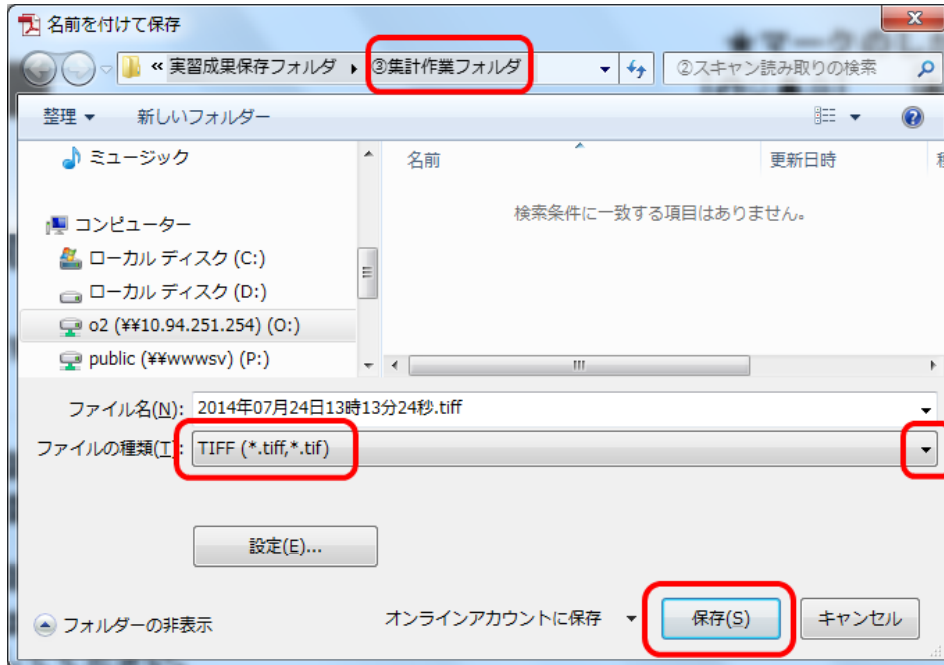
このままではマーク位置を読み取ることができないため、1枚ずつの画像データ（**TIFF形式**）に変換する必要があります。ここでは、代表的なPDF編集ソフトの「Adobe Acrobat®」を利用する方法と、無料ソフト「AcrobatReader®」と「CubePDF®」を利用する方法で紹介します。



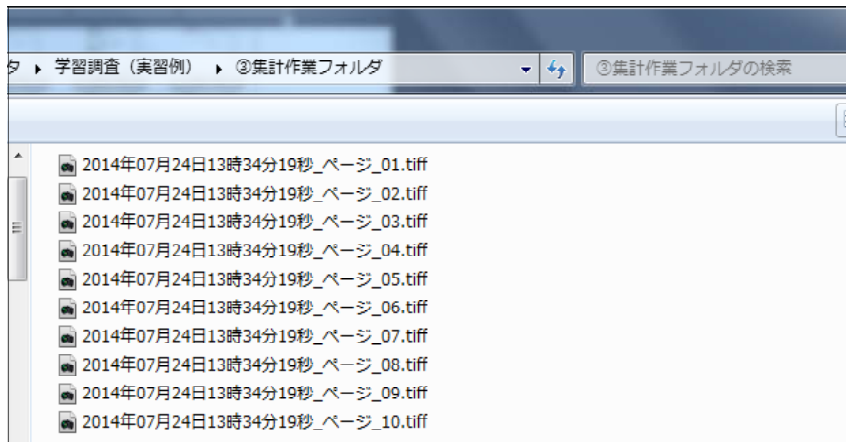
1枚ずつの画像（TIFF形式）に分割して保存

2-1 「Adobe Acrobat®」でTIFF形式で保存する方法

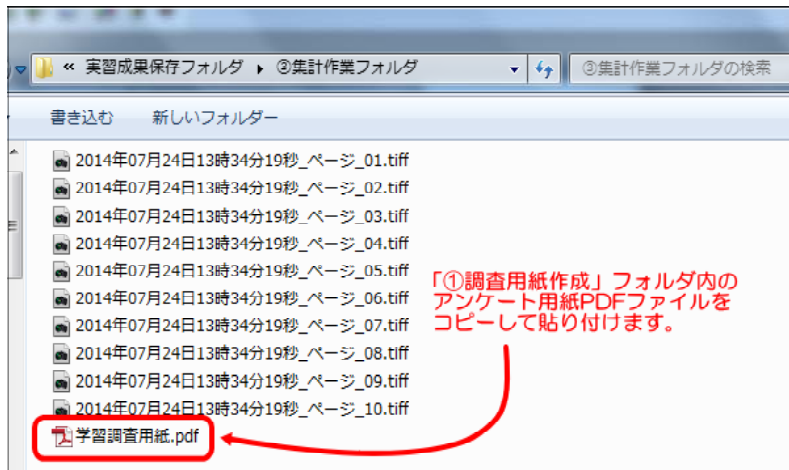
- (1) 「Adobe Acrobat®」で読み取ったPDFファイルを開き、[名前をつけて保存]を選択します。
集計作業用のフォルダにTIFF形式のファイルで保存し直します。
※研修では、「③集計作業フォルダ」に保存します。
[ファイルの種類]の[▼]をクリックして、「TIFF(*.tiff,*.tif)」を選択します。
[保存]ボタンをクリックして保存します。



- (2) 各ページごとに分割されたTIFF形式ファイル(拡張子.tiff)で保存されます。表のみで1ページ、裏表だと2ページで1件分のデータとなりますが、ファイル名は1ページ毎順にページ番号が付けられます)

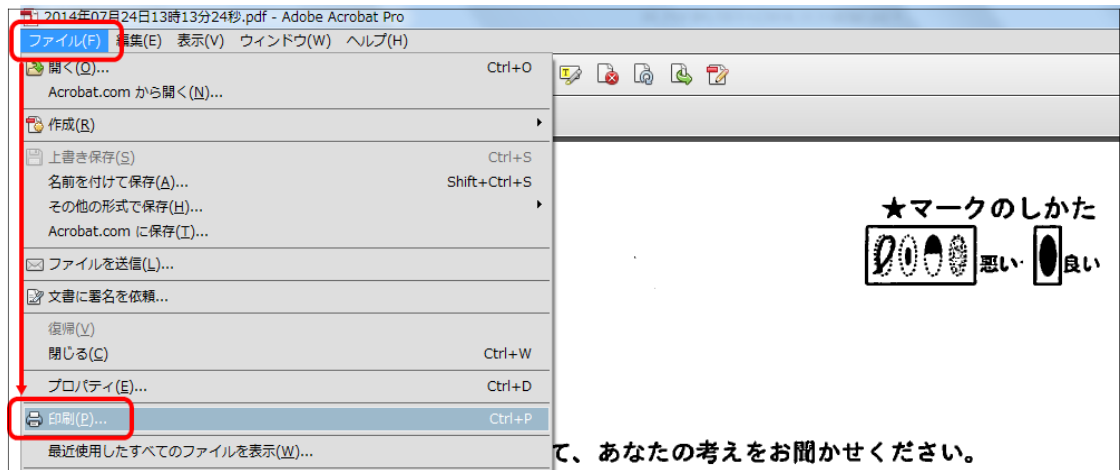


- (3) TIFFファイルを保存したフォルダ内に、アンケート用紙のPDFファイル（未記入の調査用紙のPDF）をコピーして保存します。

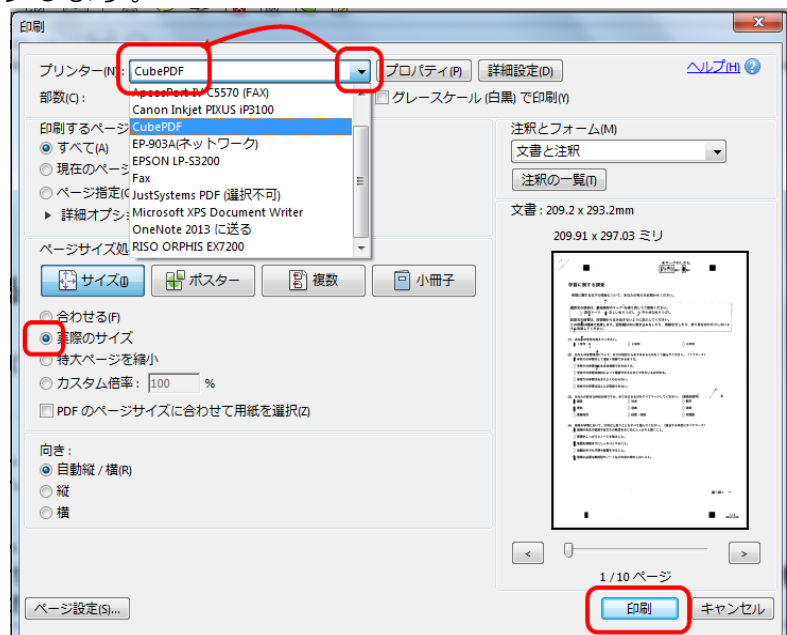


2-2 「AcrobatReader®」で開き、「CubePDF®」でTIFF形式で保存する方法

- (1) 読み取ったアンケート用紙のPDFファイルを「AcrobatReader®」で開き、「ファイル」→「印刷」を選びます。

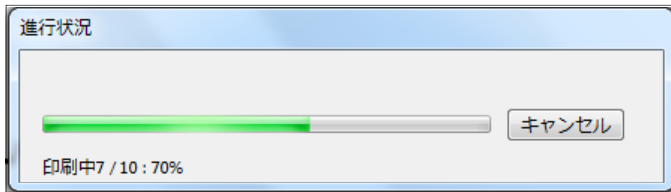


- (2) 「プリンター」を「CubePDF」に切り替え、ページサイズ処理を「実際のサイズ」にし、[印刷] ボタンをクリックします。

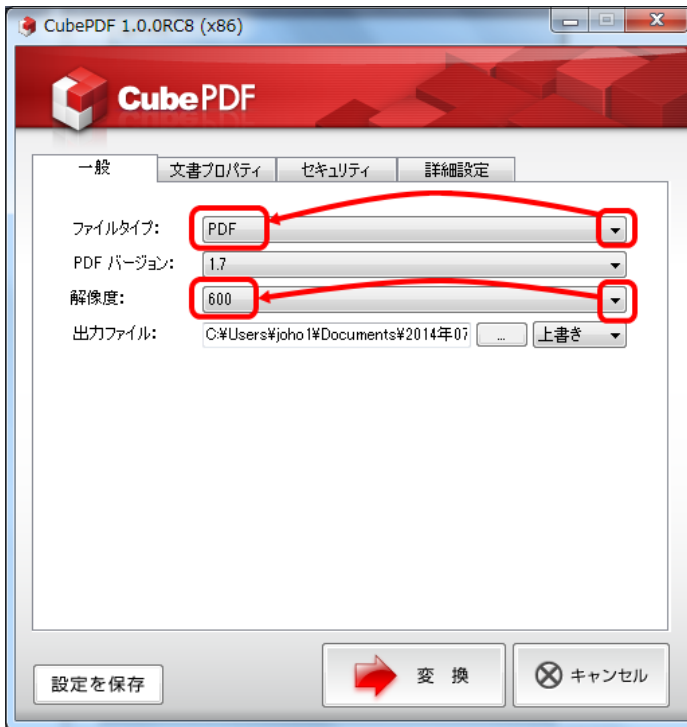


※「CubePDF®」は、印刷機能を利用してPDFファイルに変換したり、PDFのデータをTIFF等の画像ファイルに変換したりすることができるアプリケーションです。

(4) 以下のウィンドウが表示され、印刷（ファイル変換作業）が実行されます。

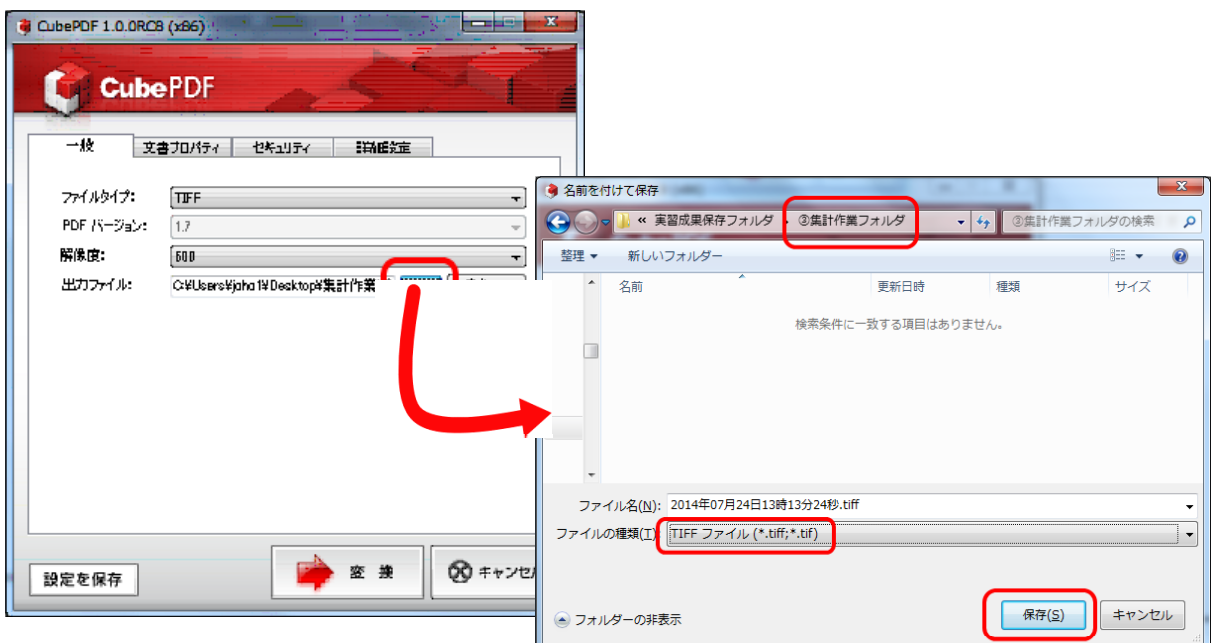


(5) 以下のウィンドウが表示されますので、「ファイルタイプ」を「TIFF」に変更します。「解像度」は標準で「300」ですが、原稿の状況により「600」（高解像度）に変更して読み取ることができます。

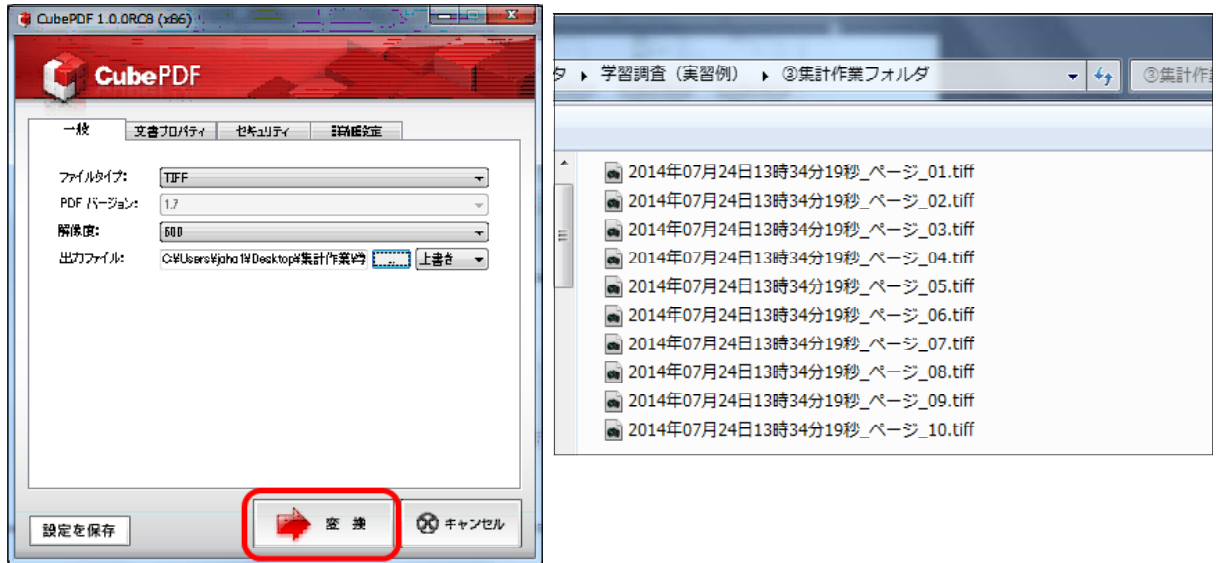


(6) 「出力ファイル」の [...] ボタンをクリックして、作業するフォルダに保存先を変更します。「ファイルの種類」が「TIFFファイル」になっていることを確認して「保存」ボタンをクリックします。

※本研修では、「③集計作業フォルダ」に保存します。

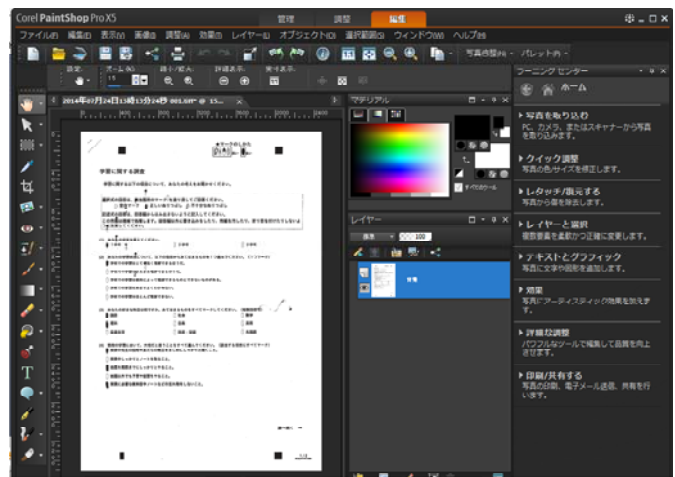


(7) [→変換] ボタンをクリックして変換します。

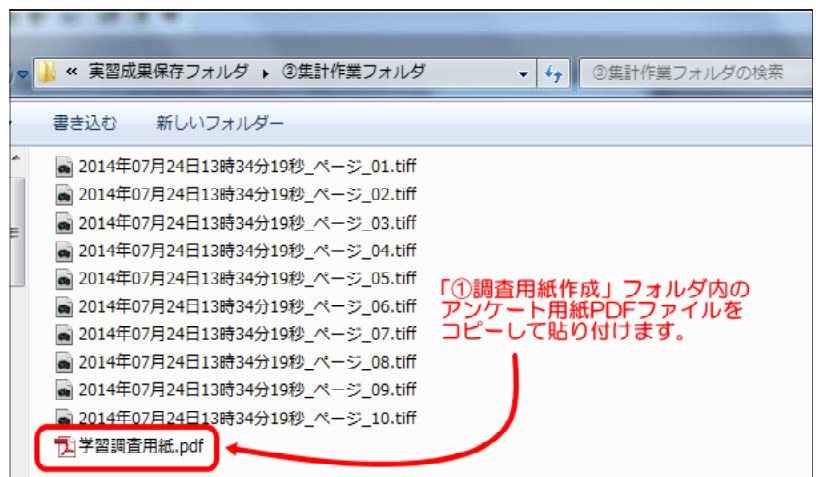


※ 1 ページずつのTIFF形式のファイルに分割され、「元のファイル名+番号」の新たなファイル名を付けて保存されます。

(8) 画像編集ソフトが起動して、画像が表示される場合があります。画像を確認したら閉じてください。



(9) TIFFファイルを保存したフォルダ内に、アンケート用紙のPDFファイル（未記入の調査用紙のPDFファイル）をコピーして保存します。



III SQS MarkReaderでのマークシート読み取り

1 SQS MarkReader ver2.1について

(1) 以下のサイトからダウンロードします。

コモンズ型学校評価支援ツール

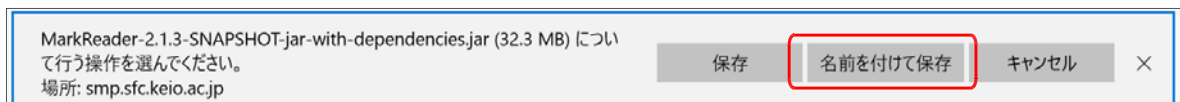
<http://smp.sfc.keio.ac.jp/commons/tools/>



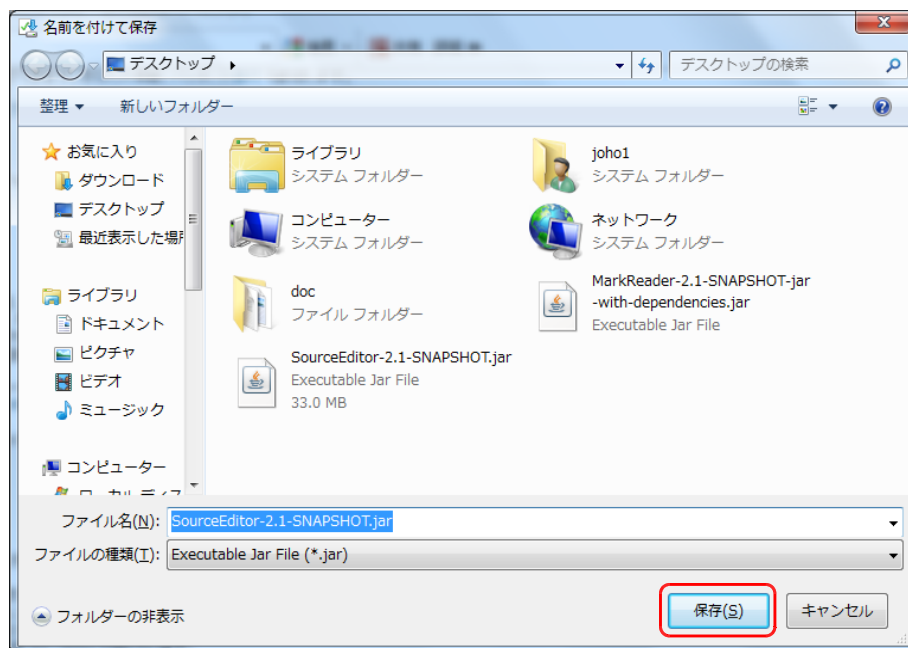
(2) ページ下部の「SQS MarkReader 2.1」をクリックします。



(3) ページ下に、以下の表示がされるので、「名前を付けて保存」ボタンをクリックします。

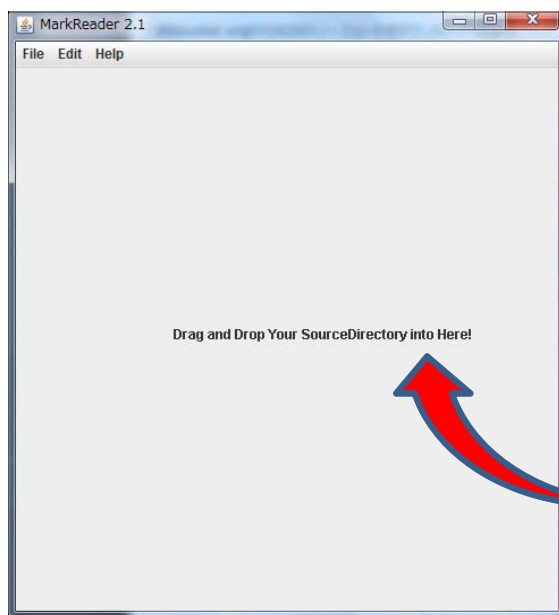


(5) 「名前を付けて保存」画面で、デスクトップなど保存する場所を適宜選択し、「保存(S)」ボタンをクリックします。



2 データの読み取り処理

- (1) ダウンロードした「SQS MarkReader 2.1」を起動します。
- (2) TIFF形式ファイルの入ったフォルダを SQS MarkReader 2.1 上にドラッグ&ドロップします。



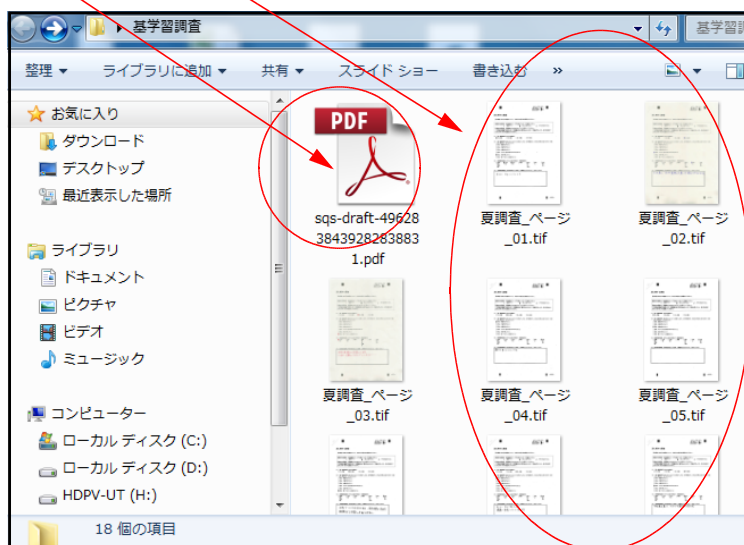
ダウンロードしないで「ファイルを開く」をクリックしても作動します。



フォルダをドラッグ&ドロップします

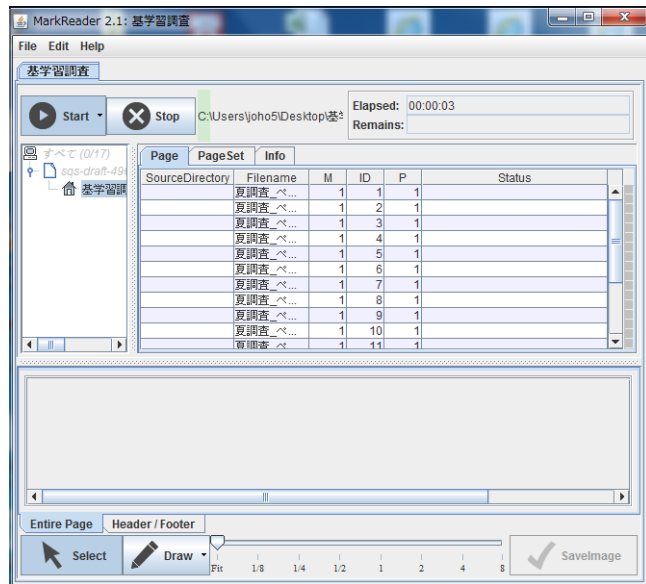
【フォルダの中身】

- 基となったPDF（アンケート印刷用PDF）
- 調査後のTIFFデータ（記入したアンケート用紙PDFをTIFFに変換したもの）

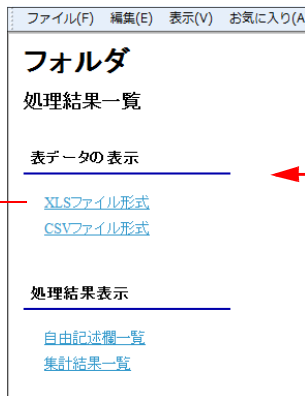
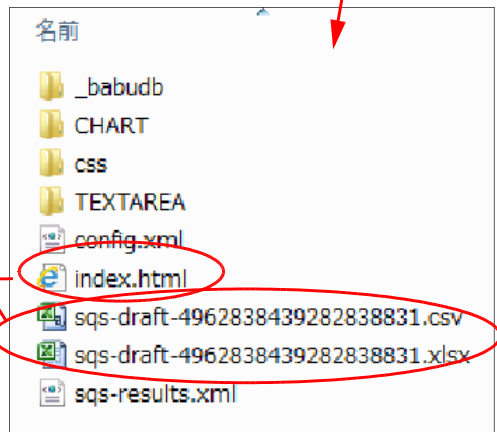
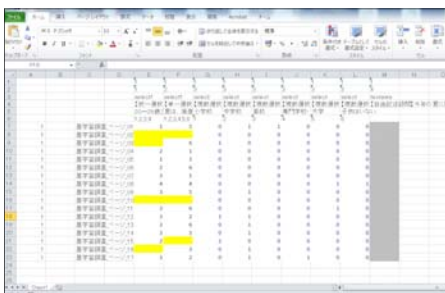
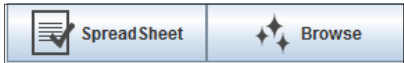
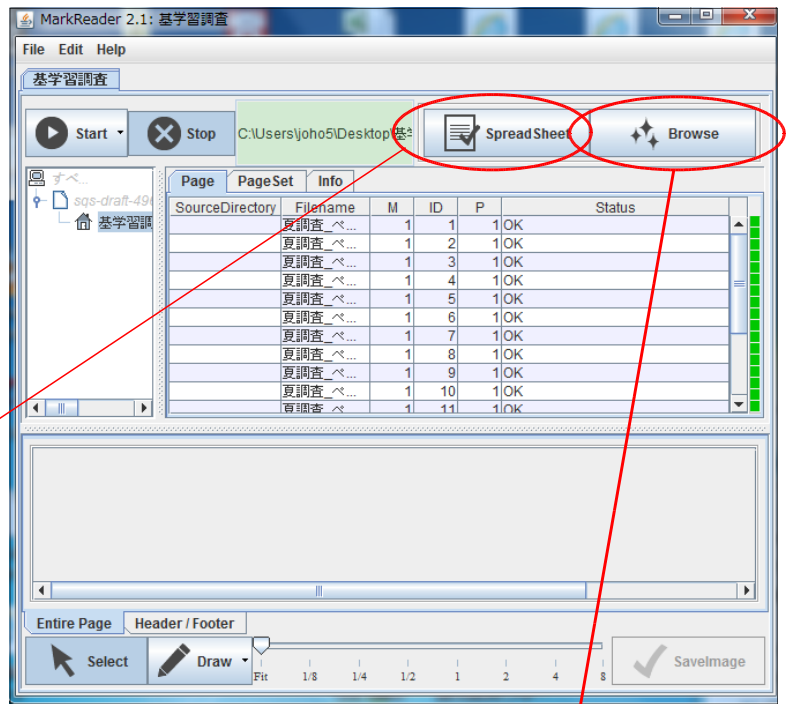


※ あとは SQS MarkReader2.1 が処理します。画面右側の緑ランプが進行状況を示します。

処理中

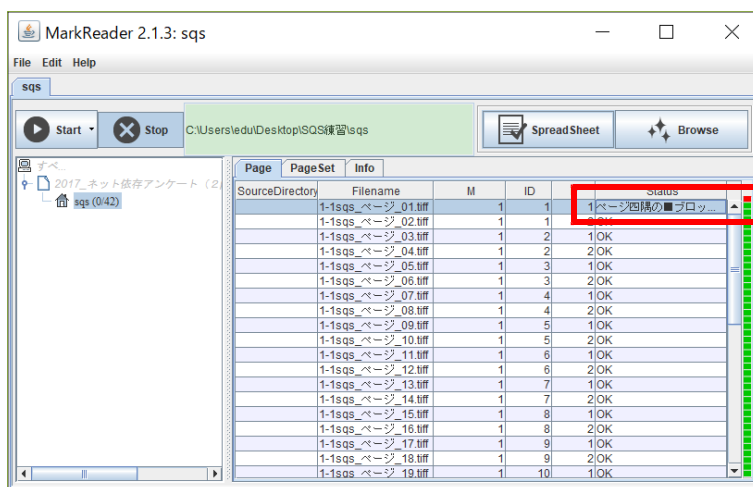


処理終了



3 データの読み取りエラーの処理

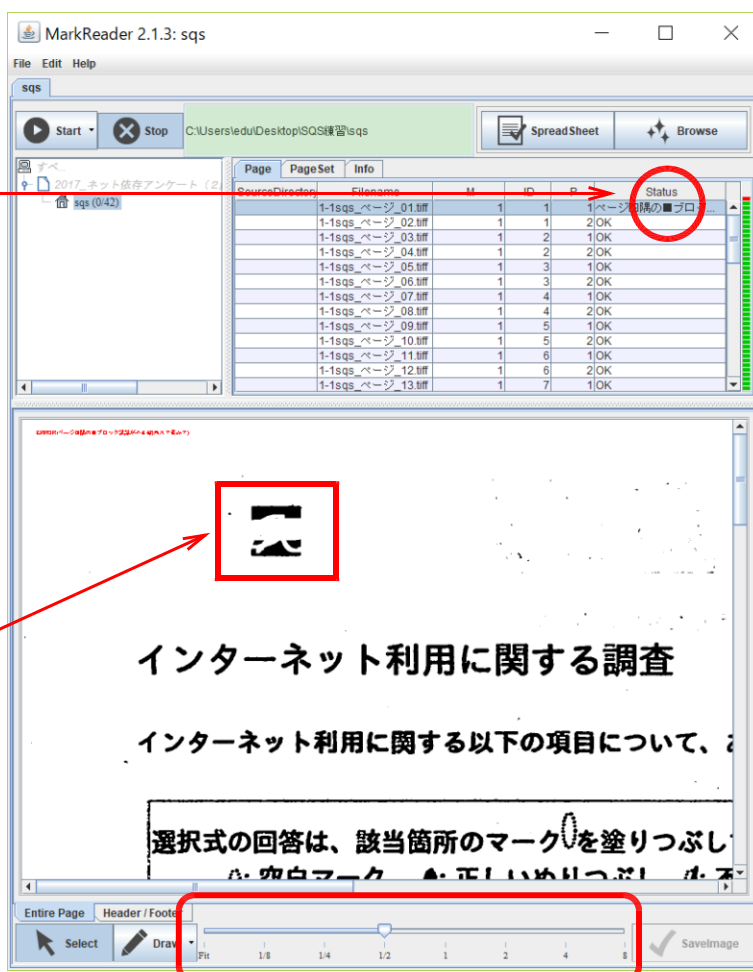
- (1) ステータス欄にエラー表示された場合
→ 「ページ四隅の■ブロック認識が不正確」と表示された



ア 「MarkReader」の「Draw」機能を利用

- (ア) ステータス欄にエラー表示のある部分をクリックして選択すると、ウィンドウ下に該当のTIFF画像が表示されます。

エラー箇所をクリック

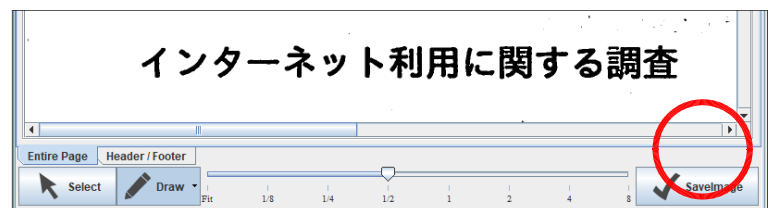


スケール部分の1/4・1/2・1などのサイズを選択して、適宜、表示サイズを調整します

- (イ) 「Draw」 ボタンをクリックすると、パレットが表示されます。ペンの形とサイズを選択して、表示されているTIFF画像を塗りつぶして修正します。

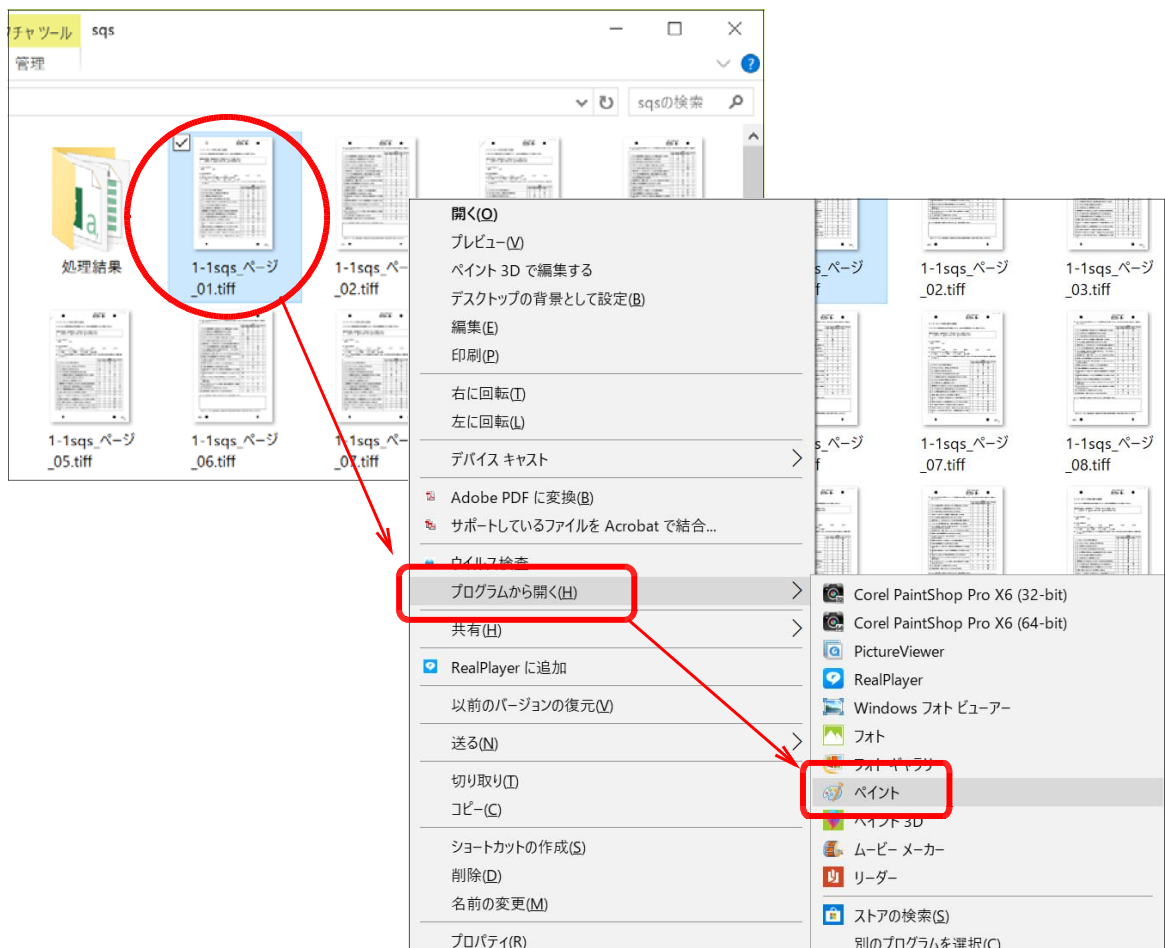


- (ロ) TIFF画像の修正が完了したら、「SaveImage」ボタンをクリックして、TIFF画像を更新します。

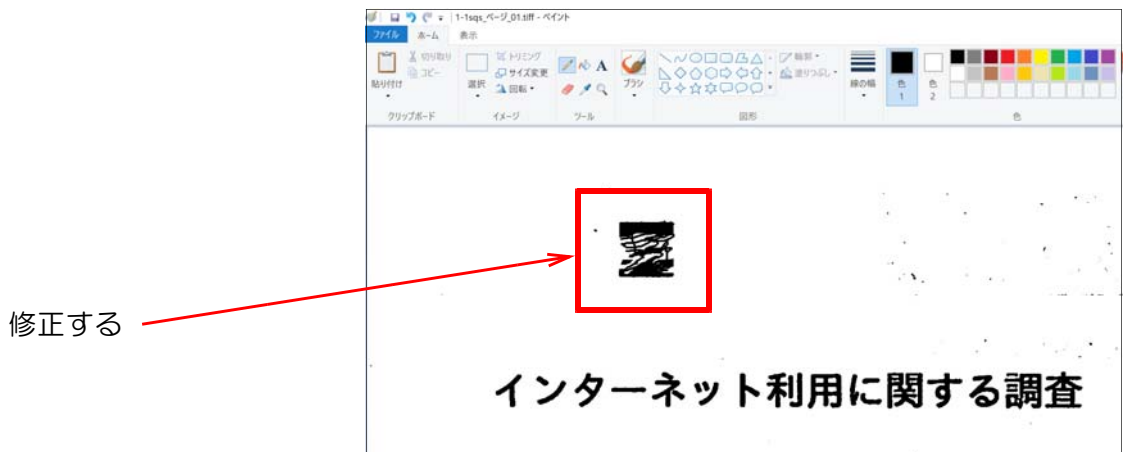


イ 「ペイント」などの画像編集ソフトを利用

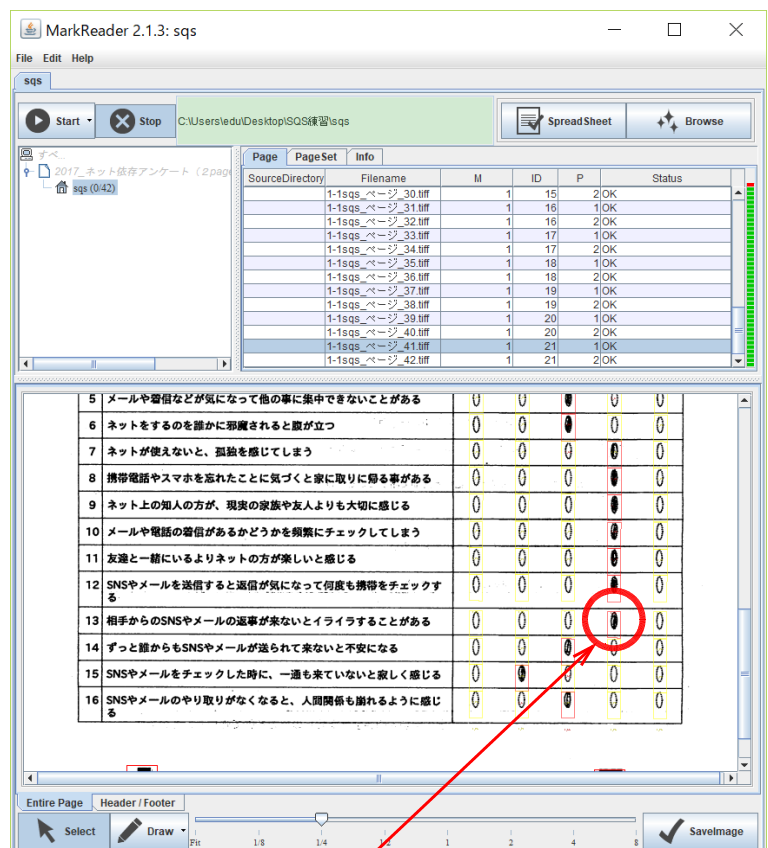
- (ア) 該当のTIFF画像ファイル上で右クリック→「プログラムから開く」→「ペイント」からファイルを開きます。



- (1) ペイント上で、ブロック■等の歪みや汚れを修正し、上書き保存をします。
 ※ 1枚ずつ修正して、上書き保存をしていきます。



- (2) 読み取りエラー表示された場合（Excelシート上で黄色やオレンジ色の箇所がある場合）
 ※ 上記の操作と同様に、正確に読み取られていない箇所や重複して読み取られている箇所を「Draw」機能を利用して修正します。

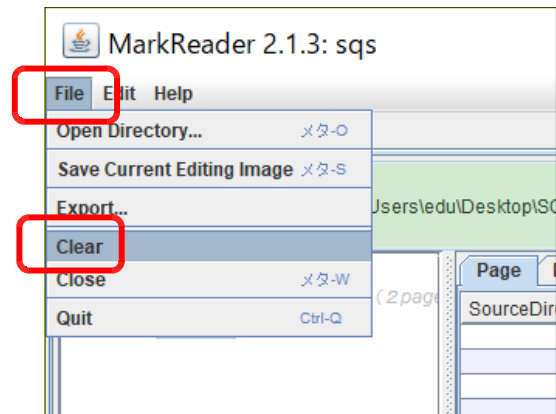


※ 赤い枠で読み取り対象になっていない場合は、黒で塗りつぶす

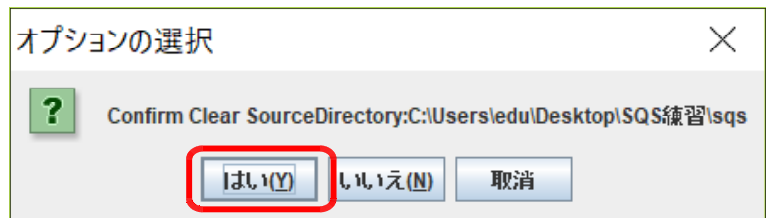
(3) 再処理

TIFF画像ファイルの修正が終了したら、再度、処理を実行します。

(ア) 「MarkReader」の「File」→「Clear」をクリックします。



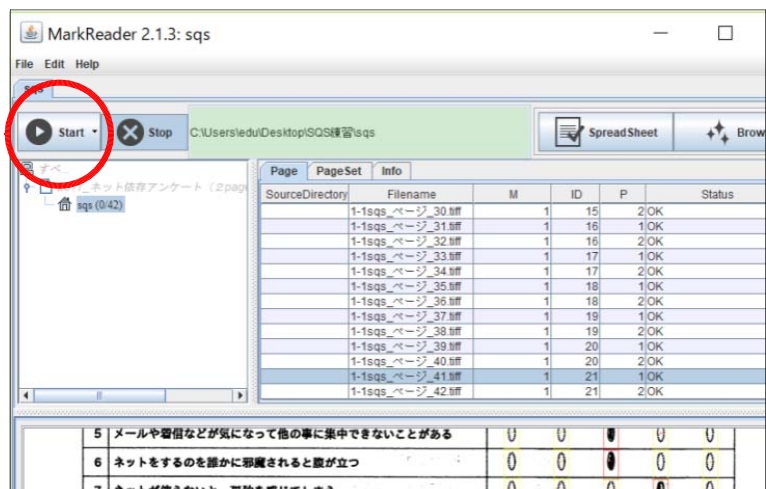
(イ) 確認のダイアログが表示されますので、「はい」をクリックします。



(ウ) 該当のフォルダ内のファイルが削除されます。



(I) 「Start」ボタンをクリックして、再処理をします。



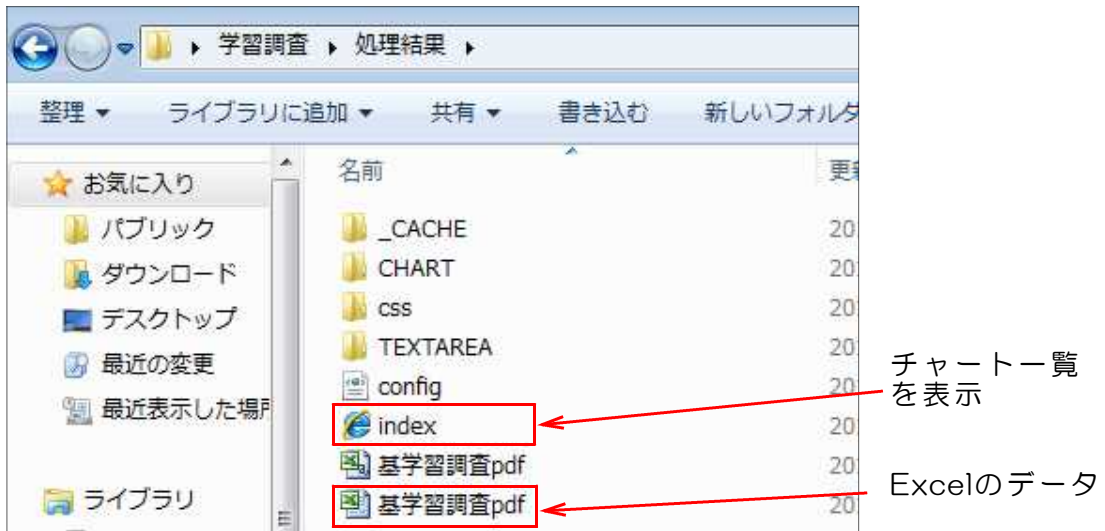
IV 読み取り処理結果の分析

1 読み取り結果の内容

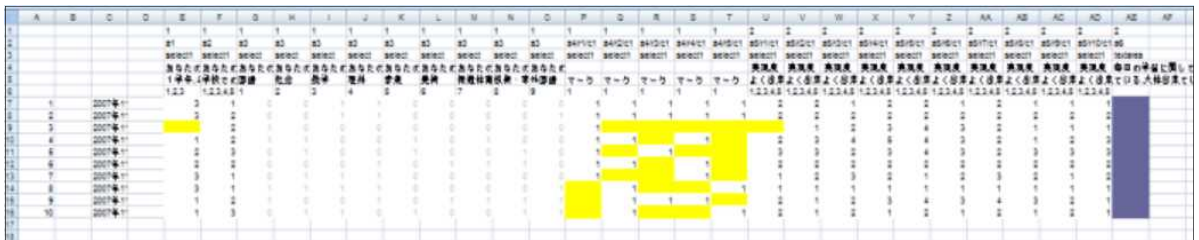
(1) **SQS MarkReader** で読み取った結果は、「元データのあったフォルダ名」フォルダの中の「処理結果」フォルダに保存されています。RESULTフォルダの内容は以下のとおりですが、分析のために利用するのはEXCEL形式のデータです。

(例) スキャンした元データを「学習調査」フォルダに保存していた場合

処理結果フォルダの内容



(2) Excel形式データを開くと、次のようなデータが表示されます。



※セルの色について

黄色のセル・・・読み取れなかったデータ、または未記入のデータをあらわします。
 紫色のセル・・・手書き文字による回答欄の画像の項目をあらわします。

(3) 各列、各行の意味は、次のようになります。

	読取番号	ファイル名 (空)	T I F F	画像	質問(1)	質問(2)	質問(3)の選択										質問(4)の各項目1~5				
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5	
1行目 アンケートのページ					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2
2行目 質問番号(1)→a1,(2)→a2・・・等					a1	a2	a3	a3	a3	a3	a3	a3	a3	a3	a3	a4/r	a4/r2	a4/r3	a4/r4	a4/r5	a5/r
3行目 選択方法					select1	select1	selei	selei	selei	selei	selei	selei	selei	selei	selei	selei	selei	selei	selei	selei	selei
4行目 質問文					あなたの	あなたの	あな	あな	あな	あな	あな	あな	あな	あな	あな	あな	あな	あな	あな	あな	あな
5行目 選択肢の内容					1学年,2	学校での	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健	技術	外国	マ	マ	マ	マ	マ	マ
6行目 選択肢の番号					1,2,3	1,2,3,4,	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	1	1	1	1	1,2
<1件目>	1	2007年11月28日21時20分			3	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1
<2件目>	2	2007年11月28日21時20分			3	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1
<3件目>	3	2007年11月28日21時20分				2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1					
<4件目>	4	2007年11月28日21時20分			1	2	1	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	1	1	1	1
<5件目>	5	2007年11月28日21時20分			2	3	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	1	1	1
<6件目>	6	2007年11月28日21時20分			2	2	0	0	0	1	0	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1
<7件目>	7	2007年11月28日21時20分			3	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1					

2 読み取り出来なかったデータの確認と入力訂正

表の中の黄色で表示されてるセルは、**SQS MarkReader** で正しく読み取れなかった項目です。この部分は、アンケート用紙から目視で値を読み取ってキーボードから入力します。その際、正常に読み取られたものと区別できるように、セルの色はそのまま変更しないでおきましょう。

この用紙は機械で処理します。回答欄以外に書き込みをしたり、用紙を汚したり、折り目を付けたりしないように注意してください。

(1) あなたの学年を教えてください。

1: 1学年 2: 2学年 3: 3学年

塗りつぶしが薄いですが、これは「1」を選択していると判断できる

1	1	2	2
1	1	2	2
1	1	2	3
1	1	3	3

「1」をキーボードから入力

<注意>

※複数選択の場合、選択されなかった項目も黄色で表示されています。これは訂正しません。

3 集計しやすいように表の体裁を整える

(1) データ部分を利用して集計します。新しいワークシートまたは、新しいブックを用意して必要なセル範囲をコピーして貼り付けましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1					1	1	1	1	1
2					a1	a2	a3	a3	a3
3					select1	select1	select	select	select
4					あなたの学	あなたの学	あなたの学	あなたの学	あなたの学
5					1学年,2学	学校での学	国語	社会	数学
6					1,2,3	1,2,3,4,5	1	2	3
7	1		2007年11月28日 2:		3	1	0	0	
8	2		2007年11月28日 2:		3	2	0	0	
9	3		2007年11月28日 2:			2	1	0	
10	4		2007年11月28日 2:		1	2	1	1	
11	5		2007年11月28日 2:		2	3	0	1	
12	6		2007年11月28日 2:		2	2	0	0	
13	7		2007年11月28日 2:		3	1	0	1	
14	8		2007年11月28日 2:		3	1	1	1	
15	9		2007年11月28日 2:		1	2	1	0	
16	10		2007年11月28日 2:		1	3	0	1	
17									

<アドバイス>

※誤って表のデータを壊してしまったり、集計方法の変更があった場合に備えて、元のデータは、必ず残しておきましょう。

(2) 集計しやすいように、適宜、項目名や列の表示幅などを変更します。このとき、並べ替えや抽出することを考慮して、データの最初には一意の項目タイトルを入れておくこと集計分析の際、表の選択がしやすくなります。

4 集計欄を作成して計算式を設定する

(1) データの下に集計欄を作成します。選択肢別の人数をカウントする欄、合計欄を下の例のように作成します。集計の目的にあわせて必要な欄を設定してください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
7	No	M(1)	M(2)	M(3)-1	M(3)-2	M(3)-3	M(3)-4	M(3)-5	M(3)-6	M(3)-7	M(3)-8	M(3)-9	M(4)-1	M(4)-2	M(4)-3	M(4)-4	M(4)-5	M(5)-1
8	1	3	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	2
9	2	3	2	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	2
10	3	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1					1
11	4	1	2	1	1	0	0	1	0	1	0	0	1	1				2
12	5	2	3	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1					3
13	6	2	2	0	0	0	1	0	1	1	1	0	1	1				2
14	7	3	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1					1
15	8	3	1	1	1	1	1	0	0	0	0	1						1
16	9	1	2	1	0	0	1	0	1	1	1	1						2
17	10	1	3	0	1	1	0	1	0	1	1	1						2
18	<複数選択集計>																	
19	1																	
20	0																	
21	<択一選択集計>																	
22	1																	
23	2																	
24	3																	
25	4																	
26	5																	
27																		
28	合計																	
29																		

(2) 集計のための計算式を設定します。以下を参考にしてください。

7	No	M(1)	M(2)	M(3)-1	M(3)-2	M(3)-3	M(3)-4
8		1	3	1	0	0	1
9		2	3	2	0	0	1
10		3	1	2	1	0	0
11		4	1	2	1	1	0
12		5	2	3	0	1	0
13		6	2	2	0	0	1
14		7	3	1	0	1	1
15		8	3	1	1	1	1
16		9	1	2	1	0	1
17		10	1	3	0	1	0
18	<複数選択集計>						
19	1						
20	0						
21	<択一選択集計>						
22	1						
23	2						
24	3						
25	4						
26	5						
27							
28	合計						
29							

② =COUNTIF(D\$8:D\$17,\$A19)

① =COUNTIF(B\$8:B\$17,\$A22)

③ =COUNT(B8:B17)

① B22のセルの内容（選択肢別の件数をカウント）

=COUNTIF (B\$8:B\$17,\$A22)

B列の8～17行目（回答）の範囲で、セルA22（選択肢が「1」）を選択した件数をカウントする。

※\$8、\$17は、8行、17行に固定する、\$Aは、A列を固定することを意味します。

※B23～B26の範囲にコピーします。その後、択一選択の質問の集計欄にコピーします。

② D19のセルも同様に設定をします。

③ B28のセルの内容（回答数の合計）

=COUNT(B8:B17)

B列の8～17行目までの数値の数をカウントする。

※28行目のすべての集計欄にコピーします。

(3) 以下のように計算結果が表示されます。

18	<複数選択集計>																						
19	1				4	5	5	6	3	2	3	4	4	7	7	4	6	4					
20	0				6	5	5	4	7	8	7	6	6	0	0	0	0	0					
21	<択一選択集計>																						
22	1	4	3															3	4	2	2	2	
23	2	2	5															6	4	6	4	4	
24	3	4	2															1	2	1	3	0	
25	4	0	0															0	0	1	0	4	
26	5	0	0															0	0	0	1	0	
27																							
28	合計	10			10	10	10	10	10	10	10	10	10	7	7	4	6	4	10	10	10	10	10

○その他にも、「割合」を求めたり「順位」を付けたり、様々に集計分析できます。

<割合>

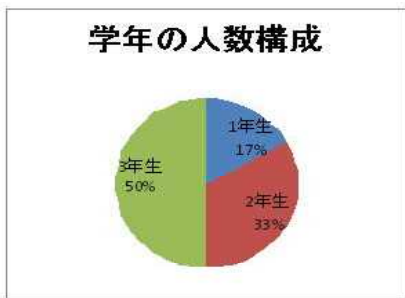
30	<択一選択割合>	
31	1	=B22/\$B\$28
32	2	20.0%
33	3	40.0%
34	4	0.0%
35	5	0.0%
36		

<順位>

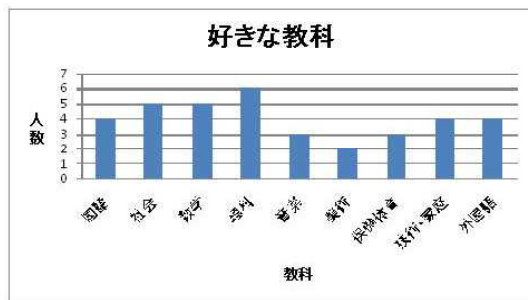
37	<択一選択順位>	
38	1	=RANK(B22,B\$22:B\$26)
39	2	[RANK(数値,参照,順序)]
40	3	1
41	4	4
42	5	4
43		

5 集計結果を使ってグラフ化

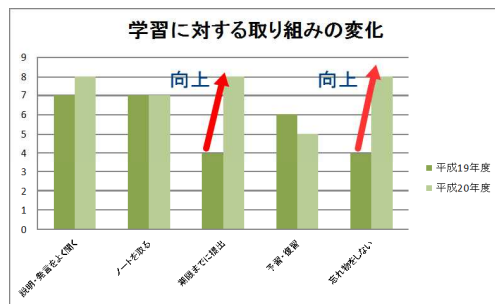
集計したデータを元に、グラフを作成してみましょう。グラフ化することにより傾向や現状を把握しやすくなります。



<割合>



<比較>



<経年比較>

6 課題発見型アンケート形式の集計とグラフ

課題発見型のアンケートでは、

「重要度」－「満足度」

「重要度」－「実現度」

の関係をみることにより、以下のような各項目の実態を把握することができます。

- ◆ 「重要度」が高く「満足度・実現度」が高い
→ 学校の取組が評価されている項目
- ◆ 「重要度」が高く「満足度・実現度」が低い
→ 改善をを図ることが必要な喫緊の課題項目
- ◆ 「重要度」が低く「満足度・実現度」が高い
→ 普段の活動により成果を上げている項目
- ◆ 「重要度」が低く「満足度・実現度」が低い
→ 緊急ではないが改善の必要がある項目

(1)本校の教育活動についてお伺いします。以下の各項目について、あなたは「(A)どのくらい重要だと思うか【重要度】と、校務において「(B)どの程度実現できていると思うか【実現度】」をお答えください。

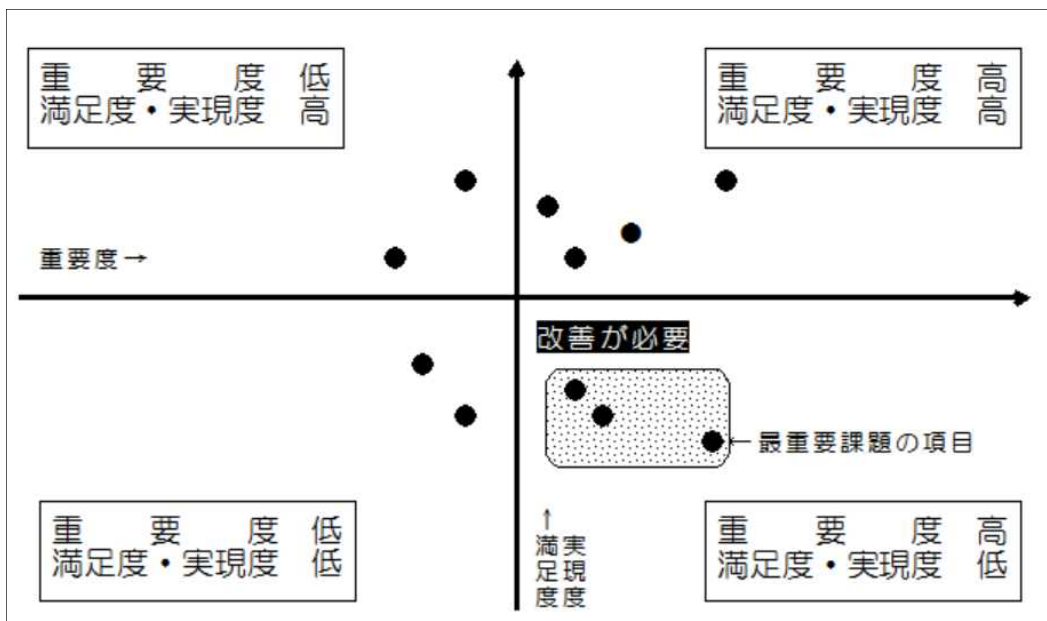
((A)と(B)の両方の該当する箇所(各項目1カ所づつ)を塗りつぶしてください)

	(A)重要度				(B)実現度			
	大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	わからない
1 教職員は、児童生徒の自立支援に向けて前向きに取り組んでいる。	0	●	0	0	0	0	●	0
2 学校は、連絡帳や配布物を通じて、家庭との連絡や情報提供を行っている。	0	●	0	0	●	0	0	0
3 教職員は、児童生徒一人ひとりの障害の状況を把握し、日常の指導に生かしている。	●	0	0	0	0	0	0	●
4 教職員は、心身の健康や障害の状況について、気軽に相談に応じている。	0	●	0	0	0	0	0	●
5 学校は、授業公開や他校との交流等を通じて、開かれた学校づくりに努力している。	0	●	0	0	0	●	0	0
6 教職員は、教育計画の作成段階で評価計画をもち、逐次達成状況を点検している。	0	●	0	0	0	0	0	●
7 学校は、特別支援学校としての役割を果たすため、校内体制の整備や地域との交流、連携に努めている。	0	●	0	0	0	0	0	●

【課題発見型アンケート調査の例】

関係を散布図で表すと次のように表現できます。

課題発見型アンケートの集計結果をもとに傾向をグラフ化してみましょう。



※ y 軸を「重要度」の平均値、x 軸を「満足度・実現度」の平均値にします。



インターネット利用に関する調査

インターネット利用に関する以下の項目について、あなたの利用状況についてお答えください。

選択式の回答は、該当箇所のマークを塗りつぶしてご回答ください。

○: 空白マーク ●: 正しいぬりつぶし ◐: 不十分なぬりつぶし

(1) あなたの性別は？

○ 男 ○ 女

(2) あなたの学年は？

○ 中1 ○ 中2 ○ 中3 ○ 高1 ○ 高2 ○ 高3

(3) あなたは1日どのくらいの時間、ネットを利用していますか？

○ ~1時間 ○ 1~2時間 ○ 2~4時間 ○ 4時間~

(4) パート1（それぞれの項目について5つの回答の中からお答えください。当てはまるものがない場合には、空欄でお答えください。）

		適合度				
		よく当てはまる	だいたい当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない	わからない
1	いつもネットのことが頭から離れない	○	○	○	○	○
2	ネットをしていないと、落ち込んだり不安になる	○	○	○	○	○
3	ネット環境のない生活は考えられない	○	○	○	○	○
4	ネットさえあれば、自分の生活は何とかなると思う	○	○	○	○	○
5	メールや着信などが気になって他の事に集中できないことがある	○	○	○	○	○
6	ネットをするのを誰かに邪魔されると腹が立つ	○	○	○	○	○
7	ネットが使えないと、孤独を感じてしまう	○	○	○	○	○
8	携帯電話やスマホを忘れたことに気づくと家に取りに帰る事がある	○	○	○	○	○
9	ネット上の知人の方が、現実の家族や友人よりも大切に感じる	○	○	○	○	○
10	メールや電話の着信があるかどうかを頻繁にチェックしてしまう	○	○	○	○	○
11	友達と一緒にいるよりネットの方が楽しいと感じる	○	○	○	○	○
12	SNSやメールを送信すると返信が気になって何度も携帯をチェックする	○	○	○	○	○
13	相手からのSNSやメールの返事が来ないとイライラすることがある	○	○	○	○	○
14	ずっと誰からもSNSやメールが送られて来ないと不安になる	○	○	○	○	○
15	SNSやメールをチェックした時に、一通も来ていないと寂しく感じる	○	○	○	○	○
16	SNSやメールのやり取りがなくなると、人間関係も崩れるように感じる	○	○	○	○	○

★マークのしかた



(5) パートII（それぞれの項目について、5つの回答の中からお答えください。当てはまるものがない場合には、空欄でお答えください。）

		適合度				
		よく当てはまる	だいたい当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない	わからない
1	ネットの利用が深夜12時をまわっても1時間以上続くことがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	ネットに夢中になって睡眠時間が短くなることもある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	ネットを使い始めるとなかなかやめることができない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	SNSやメールのやりとりが連続で1時間以上続くことがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5	ネットに利用する時間が予定以上に長くなることもある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6	着信やSNS、メールに気づいたら、すぐに折り返し電話、返信をする	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7	「ネットをする時間が長すぎる」と親から注意されたことがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8	ネットの利用を一度やめるよう親から促されると、「あと〇分だけ」のような言い訳をすることがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9	特に理由もなく、電話、SNS、メール、ネットなどをすることがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10	食事をしながら携帯電話やスマホをさわることがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11	人と話しているときでも、話しながらSNS、メールやインターネットをすることがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12	授業中でもSNSやメールが来たら、すぐに内容を確認する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13	入浴中に携帯電話やスマホを持ち込むことがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14	友達と会話している途中でも、着信があれば携帯電話やスマホを確認する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15	寝る直前に部屋を暗くしてからでも携帯電話やスマホに触ることがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
16	電車やバスに乗るとまず最初に携帯電話やスマホに手が伸びる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
17	対面でのコミュニケーションはネット上のコミュニケーションよりも苦手だと思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
18	ネットでのコミュニケーションが増え、他者と対面で話すことを避けるようになっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
19	人と対面で話すことが面倒だと思うことがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
20	友達の対話は、対面よりもネットによるものの方が多い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(6) ネット利用に関して心配なことがありましたら、自由にお書きください。

※本アンケートは、鶴田利郎氏（早稲田大学大学院人間科学学術院）の協力を得て作成したものです。

《参考 Web ページ》

- ・ コモンズ型学校評価支援ツール

<http://smp.sfc.keio.ac.jp/commons/tools/>

- ・ 岩手県総合教育センター HP

<http://www1.iwate-ed.jp/>

- ・ SQS は、以下が開発したソフトウェアです。

©KUBO Hiroya/Shared Questionnaire System Development Project

学校評価支援システム SQS
基本操作テキスト 2018

岩手県立総合教育センター